

目 次

中公新書ラクレ	195
電子書籍版	237
著訳編者名索引	253
書名索引	259

中公新書ラクレ

2023年 解説目録



- この目録には、2023年4月1日現在発売中の書籍を収録しております（電子書籍版は3月配信分まで）。それ以降の新刊については、中央公論新社ホームページ（<https://www.chuko.co.jp/>）をご覧ください。
- この目録の表示価格は、2023年4月1日現在の本体価格です。また、重版の際に価格が改訂されたり、品切れとなる場合がありますことをご了承ください。
- 価格の下の数字は当該書のISBNコード978-4-12に続く7桁です。書店でのご注文ご利用ください。
- 電子書籍版は主要電子書店にてお求めください。

当社刊行物の無断複製（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられています。また、代行業者等に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用を目的とする場合でも著作権法違反です。

L073 やさしい文章術

—レポート・論文の書き方

樋口裕一著

樋口裕一著

L194 「夜ふかし」の脳科学

—子どもの心と体を壊すもの

神山潤著

神山潤著

L202 世界の日本人ジョーク集

早坂隆著

早坂隆著

L226 論文捏造

村松秀著

村松秀著

L244 となりのクレーマー

川端裕人著

川端裕人著

—「苦情を言う人」との交渉術

日本の子どもの睡眠時間はここ20年で急速に短くなっています。深刻な影響を与えている。不眠こそが性的早熟、免疫機能低下のほか、学力低下、攻撃性、ひきこもりなどの原因として有力視されている。本書は、現代の子どもの問題行動が「夜ふかし」によってもたらされた点を、最新の見識を織り交ぜて専門医がやさしく解説。その一方で、子どもたちが眠りを取り戻すための提案も併せて行う。子どもをダメにしたもの斬新な視点から明らかにした秀作。

アイデアの出し方、分析の加え方、わかりやすい文章構成の秘訣とはなにか。レポート・論文は単なる報告ではない。分析、意見を加えるための適切な方法を知つていれば、見違えるほど評価の高いレポート・論文に仕上がる。表記のルール（句読点のつけ方・カッコの使い分け、引用のつけ方、参考文献のつけ方など）の確認もし、「受験小論文の神様」といわれる著者が大学生、社会人のためにはじめて書き下ろした、やさしくて役に立つ文章術の本。

日本での子どもの睡眠時間はここ20年で急速に短くなっています。深刻な影響を与えている。不眠こそが性的早熟、免疫機能低下のほか、学力低下、攻撃性、ひきこもりなどの原因として有力視されている。本書は、現代の子どもの問題行動が「夜ふかし」によってもたらされた点を、最新の見識を織り交ぜて専門医がやさしく解説。その一方で、子どもたちが眠りを取り戻すための提案も併せて行う。子どもをダメにしたもの斬新な視点から明らかにした秀作。

世界から憧憬の眼差しが注がれる経済大国？それとも、物真似上手のエコノミック・アニマル？地球各地で収集したジョークの数々を紹介しながら、異国から見た眞の日本人像を描き出す。『世界の紛争地ジョーク集』（ラクレ124）、「世界反米ジョーク集」（同164）に続く第三弾は、問い合わせの多かつた「日本人を不々としたもの」を満載。笑って知って、また笑う。一冊で一度おいしい本。知的なスパイクの効いた爆笑ネタをぜひお賞味あれ！

科学の殿堂・ベル研究所の若きカリスマ、ヘンドリック・シェーン。彼は超電導の分野でノーベル賞に最も近いといわれた。しかし2002年、論文捏造が発覚。『サイエンス』（ネイチャード）等の科学誌をはじめ、なぜ彼の不正に気がつかなかつたのか？欧米での現地取材、当事者のスクープ証言等によって、科学界の構造に迫る。内外のテレビ番組コンクールでトリプル受賞を果たしたNHK番組をもとにした書き下ろし。科学ジャーナリスト大賞受賞

苦情処理のプロが、1300件以上に対応した体験とそこから得た知識から、相手心理の奥底まで読んで交渉する術を一挙に伝授する。イチャヤモン、無理難題、「誠意を見せる」「ふざけんな」「詐欺師、ヤクザ……」クレーマーとのバトルの実例があまりにリアルだ。こうい、異常だ、はらはらする……でもかなり面白い「人間ドラマ」の数々。「苦情社会」の到来で、どこにでもいる、誰もがなりうるコマツタへの対処法を一冊にしたベストセラー。

『婦人公論』で07年4月22日号～08年4月7日号にかけて連載（計23回）された「みんなのPTAを探して」の書籍化も、や機能を失ったかに思えるPTAだが、父母と学校をむすぶただ一つの公的な機関として、いまなお存在しつづけているという事実は変わらない。それはどういう現状なのか、どう変わってゆかなければならぬのか。大変化期を迎えた公教育の一断面を示し、ラクレ教育書の流れの一つに位置づけるノンフィクション。

世界のジョークから日本人が「出演」しているものをピックアップ、海外の人たちの「日本人のイメージ」を考察して大ベストセラーとなつた『世界の日本人ジョーク集』。その待望の続篇がついに登場しました。新作ジョークには「アソウ」「マツザカ」など新たな登場人物も参戦。日本は世界からどう見られているかを「笑いながら探り、パワーアップして読者に届けます。知恵と経験則に基づいた味わい深い至言の数々。今こそ質の良い笑いを！」

フロイトやユングと同時代を生き、ワイン精神分析学会の中核メンバーとして活躍しながら、やがてフロイトと袂を分かつたアドラー。その心理学は「個人心理学」とも呼ばれています。本書はアドラーの考え方とともに、カウンセリングを重ねてきた著者が、現代人の悩みにズバリ答える本。自分自身のこと、友人との関係、職場の人間関係、恋愛、夫婦や親子関係など。その様々な具体的シーンで、解決の手引きとなるアドラーの考えを紹介します。

飲み代も、レジャー費もかるくOK！家も車も会社に買つてもらおう！経理部も知ら

ない「経費のカラクリ」をわかりやすく解説。元国税調査官が明かす、話題騒然の実践的会計テクニックとは？経費をうまく活用することで、コストカットにつながる。領収書を制す者は会計を制すのだ。ふだんの経費申請から決算、確定申告にいたるまで、総務部も、営業マンも、自営業者も、経営者も、すぐに役立つ一冊。

今こそ平成の笑いの力を！腹の底から笑つて、不安な気持ちを吹き飛ばそう。累計100万部突破のジョーク・シリーズ。6冊の中から、珠玉のジョークをセレクト。笑いは社会の潤滑油となり、生きる力となる。「変に難しい理屈の本よりも、明るさがあつて素直に心に届くようなものを今は読みたい」という読者の声から生まれた一冊。「笑い」こそが、人類

が絶望の歴史の末に見出した、「最大の生きる術なのだ」（あとがき）より）

L363 困った時のアドラー心理学

L396 あらゆる領収書は経費で落とせる

大村大次郎著

L400 100万人が笑った！

「世界のジョーク集」傑作選

岸見一郎著

岸見一郎著

760円
150400-5

740円
150400-1

760円
150363-3

L309 続・世界の日本人ジョーク集

L294 PTA再活用論

—悩ましき現実を超えて

早坂 隆著

川端裕人著

780円
150294-1

720円
150244-5

760円
150226-1

860円
150226-5

860円
150194-3

720円
150073-1

早坂

隆著

岸見一郎著

760円
150363-3

760円
150309-1

760円
150244-5

760円
150226-1

760円
150226-5

760円
150194-3

760円
150073-1

L 401 大学教員採用・人事のカラクリ

桜田大造 著

大学教員になるための秘訣、裏ワザを一挙公開！ 新学部設置や、採用人事に携わり、業界内部事情に通じた現役教員が、「採る側の論理」を明かす。給与、昇進・派閥、公私、コネ、業務……等々の赤裸々な実態も取材とデータをもとに公開。大学教員への就職活動の成功事例、失敗事例を数多く紹介し、採用の決め手が何なのかを検証。田塊世代の定年退職で市場が動く今こそ、新たな傾向と対策」を！

L 421 総理の器量

— 政治記者が見たリーダー秘話

橋本五郎 著

自民党的安倍晋三以降、民主党が政権の座に就いても、総理は満足にリーダーシップを発揮できず、短期間で辞任している。歴代総理と比較して彼らにはリーダーとして何が欠けていたのか。総理の番記者等を長年務めたベテラン新聞記者が、間近で接した三木武夫以降小泉純一郎に至るまでの政権の内政・外交・抗争の背後にあった政治理念・権謀術数・手練手管等を描き出し、国を背負うリーダーにはどのような資質が必要なのかを考える。

L 429 グローバル化時代の大手論① アメリカの大手・ニッポンの大学

— T.A.、シラバス、授業評価

苅谷剛彦 著

ひたすら改革が叫ばれ、グローバル化時代の大手論では、グローバルな問題を取り入れてきたニッポンの大学。だが、その有効性はいまた見えず、グローバル化の荒波の中を漂流している——元東大教授で、いまオックスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・宮田由紀夫氏（L 414-3『米国キャンパス「押金」報告』著者）

L 430 グローバル化時代の大手論② イギリスの大手・ニッポンの大学

— カレッジ、チャートリアル、エリート教育

苅谷剛彦 著

ワールドクラスの大学では、グローバルな問題を解決すべく、世界中から優秀な教員と学生を集め、人材育成に努めている。オックスフォード大学がその先頭集団を走る秘訣は何か？ クラスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・潮木守一氏（名古屋大学名誉教授・桜美林大学名誉教授）

L 435 筆順のはなし

松本仁志 著

その筆順、本当に「正しい」という自信はある？ 実は筆順には諸説あって「唯一の正解」はないのだ。だからといって、筆順の知識が不要というわけでもない。——本書は歴史をさかのぼって、いつ誰がどのように決めたのか、筆順をめぐるさまざまな謎について解き明かしながら、筆順のルールや指導法などをわかりやすく紹介する。教育関係者などの正しい知識を得たい人や、美しい文字を書きたい人へ。一家に一冊、目から鱗の内容。

L 462 ビジネスでいちばん大事な「心理学の教養」

— 脱「サラリーマン的思考」のキーワード

酒井 穂 著

心理学は、もはや人材育成からマーケティングにいたるまでの中心的な話題であり、強力なパワーを持つツールである。とりわけビジネス環境が激変して将来不安が高まる今、ボジタイプに生き残るために必要な知識もある。自己効力感、チエス盤の法則、新奇恐怖、ハロー効果、ビッグ・ファイブ……「人事戦略家」として名高い著者が、実務家の目線で厳選した全60語には、仕事のヒントが詰まっている。

L 465 若者と労働

— 「入社」の仕組みから解きほぐす

濱口桂一郎 著

新卒一括採用方式、人間力だのみの就活、ブラック企業、限定正社員、非正規雇用……様々な議論の中でもみくちやになる若者の労働問題。日本型雇用システムの特殊性とは？ そして、現在発生している軋みの根本原因はどこにあるのか？ 日本型雇用の状況だけでなく、欧米の成功例・失敗例を織り交ぜて検証する。労働政策に造詣の深い論客が雇用の「入口」に焦点を当てた決定版。感情論を捨て、ここから議論を始めよう。

L 481 ハード×慶應流 交渉学入門

田村次朗 著

経験や駆け引きに頼る昔ながらの「交渉術」では「交渉力」は向上しない。交渉には「論理的思考」と「事前準備」と「信頼」が不可欠だ。ハーバード大学で「交渉学」の権威フィッシュ教授から直接学んだ著者が、問題解決に必要な「交渉学」を日本人向きにアレンジし、ビジネス現場等の豊富な実例を交えてわかりやすく解説。慶應義塾大学やMCC（丸の内シティギャンパ）でも人気沸騰の講義を再現。学生・ビジネスマン必読！

L 496 総理の覚悟

— 政治記者が見た短命政権の舞台裏

橋本五郎 著

小泉純一郎長期政権以降、第一次安倍晋三内閣から民主党の野田佳彦にいたるまで一年程度で総理が交代することになった理由はなぜか。そして民主党はなぜわずか三年で政権を手放さざるをえなかつたのか……。沖縄米軍基地移転、東日本大震災、消費税アップ等の外交・内政の重大問題への対応を中心に、日本記者クラブ賞受賞のベテラン記者が日本政治とりべのあり方の問題点を描き出す。

L 499 マンガ コサインなんて人生に関係ないと思つた人のための数学のはなし

— タテノカズヒロ著

740円
150499-9

職場や恋愛など日常シーンを舞台に、数学の美しさ、魅力を体感！ 確率、円周率、素数など義務教育の範囲から、黄金比、斐波那契数列といった話題まで1テーマ1話完結。初心者にもやさしい解説文つき。理系イラストレーターが贈る、数学愛あふれるコミックエッセイ。「第1話 宝くじを当てるためには【確率】」「第2話 C.Dと火星探査機とバーコードの秘密【符号理論】」「第3話 「円周率は3である」は悪か？【円周率】」……。

740円
150496-8

820円
150481-4

880円
150465-7

860円
150462-3

L 429 グローバル化時代の大手論① アメリカの大手・ニッポンの大学

— T.A.、シラバス、授業評価

苅谷剛彦 著

ひたすら改革が叫ばれ、グローバル化時代の大手論では、グローバルな問題を取り入れてきたニッポンの大学。だが、その有効性はいまた見えず、グローバル化の荒波の中を漂流している——元東大教授で、いまオックスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・宮田由紀夫氏（L 414-3『米国キャンパス「押金」報告』著者）

L 430 グローバル化時代の大手論② イギリスの大手・ニッポンの大学

— カレッジ、チャートリアル、エリート教育

苅谷剛彦 著

ワールドクラスの大学では、グローバルな問題を解決すべく、世界中から優秀な教員と学生を集め、人材育成に努めている。オックスフォード大学がその先頭集団を走る秘訣は何か？ クラスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・潮木守一氏（名古屋大学名誉教授・桜美林大学名誉教授）

L 435 筆順のはなし

松本仁志 著

その筆順、本当に「正しい」という自信はある？ 実は筆順には諸説あって「唯一の正解」はないのだ。だからといって、筆順の知識が不要というわけでもない。——本書は歴史をさかのぼって、いつ誰がどのように決めたのか、筆順をめぐるさまざまな謎について解き明かしながら、筆順のルールや指導法などをわかりやすく紹介する。教育関係者などの正しい知識を得たい人や、美しい文字を書きたい人へ。一家に一冊、目から鱗の内容。

L 462 ビジネスでいちばん大事な「心理学の教養」

— 脱「サラリーマン的思考」のキーワード

酒井 穂 著

心理学は、もはや人材育成からマーケティングにいたるまでの中心的な話題であり、強力なパワーを持つツールである。とりわけビジネス環境が激変して将来不安が高まる今、ボジタイプに生き残るために必要な知識もある。自己効力感、チエス盤の法則、新奇恐怖、ハロー効果、ビッグ・ファイブ……「人事戦略家」として名高い著者が、実務家の目線で厳選した全60語には、仕事のヒントが詰まっている。

L 465 若者と労働

— 「入社」の仕組みから解きほぐす

濱口桂一郎 著

新卒一括採用方式、人間力だのみの就活、ブラック企業、限定正社員、非正規雇用……様々な議論の中でもみくちやになる若者の労働問題。日本型雇用システムの特殊性とは？ そして、現在発生している軋みの根本原因はどこにあるのか？ 日本型雇用の状況だけでなく、欧米の成功例・失敗例を織り交ぜて検証する。労働政策に造詣の深い論客が雇用の「入口」に焦点を当てた決定版。感情論を捨て、ここから議論を始めよう。

L 481 ハード×慶應流 交渉学入門

田村次朗 著

経験や駆け引きに頼る昔ながらの「交渉術」では「交渉力」は向上しない。交渉には「論理的思考」と「事前準備」と「信頼」が不可欠だ。ハーバード大学で「交渉学」の権威フィッシュ教授から直接学んだ著者が、問題解決に必要な「交渉学」を日本人向きにアレンジし、ビジネス現場等の豊富な実例を交えてわかりやすく解説。慶應義塾大学やMCC（丸の内シティギャンパ）でも人気沸騰の講義を再現。学生・ビジネスマン必読！

L 496 総理の覚悟

— タテノカズヒロ著

740円
150499-9

740円
150496-8

820円
150481-4

880円
150465-7

860円
150462-3

L 429 グローバル化時代の大手論① アメリカの大手・ニッポンの大学

— T.A.、シラバス、授業評価

苅谷剛彦 著

ひたすら改革が叫ばれ、グローバル化時代の大手論では、グローバルな問題を取り入れてきたニッポンの大学。だが、その有効性はいまた見えず、グローバル化の荒波の中を漂流している——元東大教授で、いまオックスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・宮田由紀夫氏（L 414-3『米国キャンパス「押金」報告』著者）

L 430 グローバル化時代の大手論② イギリスの大手・ニッポンの大学

— カレッジ、チャートリアル、エリート教育

苅谷剛彦 著

ワールドクラスの大学では、グローバルな問題を解決すべく、世界中から優秀な教員と学生を集め、人材育成に努めている。オックスフォード大学がその先頭集団を走る秘訣は何か？ クラスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・潮木守一氏（名古屋大学名誉教授・桜美林大学名誉教授）

L 435 筆順のはなし

松本仁志 著

その筆順、本当に「正しい」という自信はある？ 実は筆順には諸説あって「唯一の正解」はないのだ。だからといって、筆順の知識が不要というわけでもない。——本書は歴史をさかのぼって、いつ誰がどのように決めたのか、筆順をめぐるさまざまな謎について解き明かしながら、筆順のルールや指導法などをわかりやすく紹介する。教育関係者などの正しい知識を得たい人や、美しい文字を書きたい人へ。一家に一冊、目から鱗の内容。

L 462 ビジネスでいちばん大事な「心理学の教養」

— 脱「サラリーマン的思考」のキーワード

酒井 穂 著

心理学は、もはや人材育成からマーケティングにいたるまでの中心的な話題であり、強力なパワーを持つツールである。とりわけビジネス環境が激変して将来不安が高まる今、ボジタイプに生き残るために必要な知識もある。自己効力感、チエス盤の法則、新奇恐怖、ハロー効果、ビッグ・ファイブ……「人事戦略家」として名高い著者が、実務家の目線で厳選した全60語には、仕事のヒントが詰まっている。

L 465 若者と労働

— 「入社」の仕組みから解きほぐす

濱口桂一郎 著

新卒一括採用方式、人間力だのみの就活、ブラック企業、限定正社員、非正規雇用……様々な議論の中でもみくちやになる若者の労働問題。日本型雇用システムの特殊性とは？ そして、現在発生している軋みの根本原因はどこにあるのか？ 日本型雇用の状況だけでなく、欧米の成功例・失敗例を織り交ぜて検証する。労働政策に造詣の深い論客が雇用の「入口」に焦点を当てた決定版。感情論を捨て、ここから議論を始めよう。

L 481 ハード×慶應流 交渉学入門

田村次朗 著

経験や駆け引きに頼る昔ながらの「交渉術」では「交渉力」は向上しない。交渉には「論理的思考」と「事前準備」と「信頼」が不可欠だ。ハーバード大学で「交渉学」の権威フィッシュ教授から直接学んだ著者が、問題解決に必要な「交渉学」を日本人向きにアレンジし、ビジネス現場等の豊富な実例を交えてわかりやすく解説。慶應義塾大学やMCC（丸の内シティギャンパ）でも人気沸騰の講義を再現。学生・ビジネスマン必読！

L 496 総理の覚悟

— タテノカズヒロ著

740円
150499-9

740円
150496-8

820円
150481-4

880円
150465-7

860円
150462-3

L 429 グローバル化時代の大手論① アメリカの大手・ニッポンの大学

— T.A.、シラバス、授業評価

苅谷剛彦 著

ひたすら改革が叫ばれ、グローバル化時代の大手論では、グローバルな問題を取り入れてきたニッポンの大学。だが、その有効性はいまた見えず、グローバル化の荒波の中を漂流している——元東大教授で、いまオックスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・宮田由紀夫氏（L 414-3『米国キャンパス「押金」報告』著者）

L 430 グローバル化時代の大手論② イギリスの大手・ニッポンの大学

— カレッジ、チャートリアル、エリート教育

苅谷剛彦 著

ワールドクラスの大学では、グローバルな問題を解決すべく、世界中から優秀な教員と学生を集め、人材育成に努めている。オックスフォード大学がその先頭集団を走る秘証は何か？ クラスフォード大学で活躍する著名な教育社会学者が、新米教師の頃、いち早く警鐘を鳴らした「アメリカ大学教育体験記」から、日本の当時と変わらぬ問題点が浮かび上がる。巻末解説文・潮木守一氏（名古屋大学名誉教授・桜美林大学名誉教授）

L 435 筆順のはなし

松本仁志 著

その筆順、本当に「正しい」という自信はある？ 実は筆順には諸説あって「唯一の正解」はないのだ。だからといって、筆順の知識が不要というわけでもない。——本書は歴史をさかのぼって、いつ誰がどのように決めたのか、筆順をめぐるさまざまな謎について解き明かしながら、筆順のルールや指導法などをわかりやすく紹介する。教育関係者などの正しい知識を得たい人や、美しい文字を書きたい人へ。一家に一冊、目から鱗の内容。

L 462 ビジネスでいちばん大事な「心理学の教養」

— 脱「サラリーマン的思考」のキーワード

酒井 穂 著

心理学は、もはや人材育成からマーケティングにいたるまでの中心的な話題であり、強力なパワーを持つツールである。とりわけビジネス環境が激変して将来不安が高まる今、ボジタイプに生き残るために必要な知識もある。自己効力感、チエス盤の法則、新奇恐怖、ハロー効果、ビッグ・ファイブ……「人事戦略家」として名高い著者が、実務家の目線で厳選した全60語には、仕事のヒントが詰まっている。

L 465 若者と労働

— 「入社」の仕組みから解きほぐす

濱口桂一郎 著

新卒一括採用方式、人間力だのみの就活、ブラック企業、限定正社員、非正規雇用……様々な議論の中でもみくちやになる若者の労働問題。日本型雇用システムの特殊性とは？ そして、現在発生している軋みの根本原因はどこにあるのか？ 日本型雇用の状況だけでなく、欧米の成功例・失敗例を織り交ぜて検証する。労働政策に造詣の深い論客が雇用の「入口」に焦点を当てた決定版。感情論を捨て、ここから議論を始めよう。

L 481 ハード×慶應流 交渉学入門

田村次朗 著

経験や駆け引きに頼る昔ながらの「交渉術」では「交渉力」は向上しない。交渉には「論理的思考」と「事前準備」と「信頼」が不可欠だ。ハーバード大学で「交渉学」の権威フィッシュ教授から直接学んだ著者が、問題解決に必要な「交渉学」を日本人向きにアレンジし、ビジネス現場等の豊富な実例を交えてわかりやすく解説。慶應義塾大学やMCC（丸の内シティギャンパ）でも人気沸騰の講義を再現。学生・ビジネスマン必読！

L 496 総理の覚悟

— タテノカズヒロ著

740円
150499-9

740円
150496-8

820円
150481-4

880円
150465-7

860円
150462-3

L533 野球×統計は 最強のバッテリーである

—セイバーメトリクスとトラッキングの世界
データスタジアム株式会社 著

L535 本をサクサク読む技術

—長編小説から翻訳モノまで

齋藤

孝 著

L538 腰・肩・ひざは 「ふたりで」治す

—魔法のリセット・整体

山内英雄

+島

泰三 著

L542 23区格差

L543 教えて！ 校長先生
渋谷教育学園は
なぜ共学トップになれたのか

田村哲夫 著

池田利道 著

山内英雄 + 島 泰三 著

斎藤 孝 著

高岡浩二 著

平井伸治 著

岸見一郎 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

打率や防御率だけでは野球選手の真の実力は分からぬ。本書では、野球ファンの「賞識」となりつつあるセイバーメトリクスについて、具体例を挙げて解説。また、投球、打球、選手の動きのすべてを記録するデータ分析の最先端、トラッキングシステムも紹介する。さらにメジャーリーグが先行導入しているPITCH f/xのデータから、藤川球児、田中将大らのストレートの特徴を徹底分析。「球のキレやノビ」の正体にも迫る!

途中で挫折しない方法を、読書論の著者が教えます！ 登場人物がややこしい長編小説の読み方とは？ 難解な翻訳書、学術書を読みこなすコツは？ 本を同時に読み進める「並行読書」、レーベル別攻略法、1000冊読める大量消化法等の齋藤メソッドが盛り沢山。コラム「よろず読書相談室」では、個別の悩み相談にも答える。ド文系のための理系本や初心者向けの歴史・経済小説などオススメ本も多数掲載。

腰痛・肩こり・膝痛。これらに効果絶大の「リセット・整体」を考案したのがジャパン・ヨガ・カレッジ学長の山内氏。全ては偏った姿勢や運動の弊害で、ねじつて回して「リセット」すればカラダはよみがえる！ 「リセットシリーズ」第二弾となる今作は「ふたりで」やることで効果をアップ。さらに顔や首など、適応箇所も増加。「腰痛が」「曲がらない指が！」と大反響を巻き起こして、いるメソッドを、理学博士で動物生態学者の島氏が解説。

一人勝ちも那嬪される東京都。そのパワーワーの源は「格差」にあった！ 少子化せず、区によつては高齢化も進まない理由とは何か。子育てしやすい区、暮らしやすい区、安心・安全な区、学歴・年収・職業の高い区はどこか。そして山の手ブランドに迫りつつある危機とは？ 23区がうねり、力強く成長を続ける。その理由を東京23区研究所所長がデータで解析。成長のヒントはここに隠れている！ 区別通信簿付き。

L551 ちっちやな科学

—好奇心がおおきくなる読書&教育論
渋谷教育学園は

なぜ共学トップになれたのか

田村哲夫 著

池田利道 著

山内英雄 + 島 泰三 著

斎藤 孝 著

高岡浩二 著

平井伸治 著

岸見一郎 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

砂丘の国

21世紀のマーケティング

イノベーション

高岡浩二 + フィリップ・コトナー 著

小さくとも勝てる

人生を変える勇気

</

L568 増補版 箱根駅伝

——世界へ駆ける夢

読売新聞運動部 著

L572 里地里山エネルギー

——自立分散への挑戦

河野博子 著

L576 声優道

——死ぬまで「声」で食う極意

岩田光央 著

L578 逆説のスタートアップ思考

——孤独のすすめ
人生後半の生き方

馬田隆明 著

L575 孤独のすすめ

——人生後半の生き方

五木寛之 著

L586 アドラーをじっくり読む

——オーツクスフォードからの警鐘
グローバル化時代の大学論

岸見一郎 著

L587 オーツクスフォードからの警鐘 ——グローバル化時代の大学論

苅谷剛彦 著

——希望の政治
都民ファーストの会講義録

小池百合子 編著

——世代の痛み
——団塊ジュニアから団塊への質問状

上野千鶴子+雨宮処凜 著

L599 ハーバード日本史教室

佐藤智恵 著

——世界最高の学び舎
ハーバード大学の教員や学生は日本史から何を学んでいるのか

物語「忠臣蔵」から、城山三郎まで取り上げる一方、天皇のリーダーシップについて考えたり、和食の奥深さを学んだり……。授業には日本人も知らない日本の魅力が溢れていた。

二人が、私たちを取り巻く社会・経済的な現実や、見過ごされた痛み」とその対策について論じ合った。この時代を心豊かに生き抜くためのヒントが満載。

820円
150599-6

800円
150598-9

760円
150598-3

——ミリオンセラー「嫌われる勇気」のヒットを受けて、アドラー心理学の関連書が矢張り早く出版された。しかもビジネス、教育、育児など分野は多岐にわたっている。だが、一連の本の内容や、著者に直接寄せられた反響を見ると、誤解されている節が多くあるという。そこで本書は、アドラー自身の原著に立ち返る。その内容をダイジェストで紹介しながら、深い理解をめざす。アドラーの著作を多数翻訳した著者ならではの、完全アドラー読書案内。

——ワールドクラスの大学は、「ヒト・モノ・カネ」をグローバルに調達する競争と評価を繰り広げている。水をあけられた日本は、国をあげて世界大学ランキングの上位をめざし始めた。だが、イギリスの内部事情を知る著者によれば、ランキングの目的は英米が外貨を獲得するためであり、日本はまんまとその「罠」にはまっているのだといふ——日本の大学改革は正しいのか？ 真にめぐすべき道は何か？ 彼の違いを探り、我らの強みを分析する。

——希望の塾塾長・小池百合子が考える政治とは何か。その原点から今後の展望までを語り尽くした熱血講義を再現！ 預算のメリハリや防災対策、都市デザインなどの為すべき政策を論じ、政治家に求められる資質をわかりやすく示す。政治の本質を説き、希望のビジョンを描こうとする講義からは、大都市・東京、そして現代日本に必要な政治とリーダーシップが見えてくるだろう。日本政治の転機の今、必読の一冊。

——世界最高の学び舎
ハーバード大学の教員や学生は日本史から何を学んでいるのか

物語「忠臣蔵」から、城山三郎まで取り上げる一方、天皇のリーダーシップについて考えたり、和食の奥深さを学んだり……。授業には日本人も知らない日本の魅力が溢れていた。

アマルティア・セン・アンドルー・ゴートン、エスラ・ヴォーゲル、ジョセフ・ナイは、ハーバード大学の教授10人のインタビューを通して、世界から見た日本の価値を再発見する一冊。

箱根駅伝は、今や日本の正月に欠かせない風物詩ともなった学生スポーツの花形。世界に名だたる「EKTENDEN」の代名詞ともいえる存在だ。90年以上の歴史の中で多くのドラマも生まれた。箱根駅伝を見つめ続けた読売新聞運動部記者たちが、名ランナたちの活躍や練習など胸を熱くする歴史をさまざまな角度から綴った。さらに、2016年のリオ五輪報告、東京五輪も見据えた情報を加筆して駅伝ファンに届ける。

——風力、太陽光、小水力など自然資源を使った「小さいエネルギー」。この電力で地域内の暮らしをまかなう試みの最前線に迫る。宮城県東松島市・山形県庄内町・鹿児島県甑島、岩手県紫波町、富山県五箇山・宇奈月温泉を事例に、「地産地消」「地方創生」は本当に可能かどうか、その夢と現実を徹底検証。著者は環境問題を長年取材してきたペテラン記者で、これまでの流れと最新状況がよくわかる。

——いまや「憧れる職業」となった「声優」。アニメなどの従来の仕事に加え、歌や舞台へ活躍の幅が広がった。しかしその結果として志望者が激増した一方、生計を立てられる人が激減したと、ベテラン声優の著者は警鐘を鳴らす。そこで「声優」の実情や、声で生きていった時代の「極意」を伝授！ 著者はなぜ業界で30年以上生き残ることができたのか？ これから時代の声優に求められる資質とはいつたい？ 声優志望者30万人必読の書

——「人生後半」を生きる知恵とは、パワフルな生活をめざすではなく、減速して生きること。「前向きに」の呪縛を捨て、無理な加速をするのではなく、精神活動は高めながらもスピードを制御する。「人生的のソフトダウン＝減速」こそが、本来の老後のものです。そして、老いとともに訪れる「孤独」を恐れず、自分だけの貴重な時間をたのしむ知恵を持てるならば、人生後半はより豊かに、成熟した日々となります。話題のベストセラー！

860円
150572-9
780円
150576-7

820円
150578-1
740円
150585-9

800円
150578-3
760円
150586-2

L631 **秘湯マニアの温泉療法専門医が教える
心と体に効く温泉**

佐々木政一 著

温泉は一生楽しめる深イイ—趣味です。現役医師の著者が自ら215箇所を巡って選んだ秘湯・名湯の数々を紹介。温泉の効能から、最新情報、心と体が健康になるための賢い温泉利用法を解説。また、温泉にまつわる言い伝えや歴史、温泉文化についても幅広く言及。知れば知るほど面白い雑学も満載。心も体もイキイキとする温泉へご招待します。温泉を楽しんで健康になる。一石二鳥の温泉ガイドブックとしても活用できます。

L634 **人生の十か条**

辻 仁成 著

L635 **大人のための儒教塾
中学受験「必笑法」**

L637

**新装版 役人道入門
—組織人のためのメソッド**

L638

中学受験「必笑法」

L639

久保田勇夫 著

おおたとしまさ 著

中学受験「必笑法」

L640

久保田勇夫 著

L641

中学受験「必笑法」

L642

久保田勇夫 著

L643

中学受験「必笑法」

L644

**負けたくなかった
—具志堅用高、波瀬の半生を語る**

L645 **戦国武将に学ぶ
究極のマネジメント**

L646 **安彦良和の戦争と平和
—新時代の中国との付き合い方**

L647 **日中の失敗の本質**

L648 **アレックス・カー + 清野由美 著**

L649 **宮本雄二 著**

L650 **杉田俊介 著**

L651 **二木謙一 著**

L652 **宮本雄二 著**

L653 **宮本雄二 著**

L654 **宮本雄二 著**

L655 **宮本雄二 著**

L656 **宮本雄二 著**

L657 **宮本雄二 著**

L658 **宮本雄二 著**

L659 **宮本雄二 著**

L660 **宮本雄二 著**

L661 **宮本雄二 著**

L662 **宮本雄二 著**

L663 **宮本雄二 著**

L664 **宮本雄二 著**

L665 **宮本雄二 著**

L666 **宮本雄二 著**

L667 **宮本雄二 著**

L668 **宮本雄二 著**

L669 **宮本雄二 著**

L670 **宮本雄二 著**

L671 **宮本雄二 著**

L672 **宮本雄二 著**

L673 **宮本雄二 著**

L674 **宮本雄二 著**

L675 **宮本雄二 著**

L676 **宮本雄二 著**

L677 **宮本雄二 著**

L678 **宮本雄二 著**

L679 **宮本雄二 著**

L680 **宮本雄二 著**

L681 **宮本雄二 著**

L682 **宮本雄二 著**

L683 **宮本雄二 著**

L684 **宮本雄二 著**

L685 **宮本雄二 著**

L686 **宮本雄二 著**

L687 **宮本雄二 著**

L688 **宮本雄二 著**

L689 **宮本雄二 著**

L690 **宮本雄二 著**

L691 **宮本雄二 著**

L692 **宮本雄二 著**

L693 **宮本雄二 著**

L694 **宮本雄二 著**

L695 **宮本雄二 著**

L696 **宮本雄二 著**

L697 **宮本雄二 著**

L698 **宮本雄二 著**

L699 **宮本雄二 著**

L700 **宮本雄二 著**

L701 **宮本雄二 著**

L702 **宮本雄二 著**

L703 **宮本雄二 著**

L704 **宮本雄二 著**

L705 **宮本雄二 著**

L706 **宮本雄二 著**

L707 **宮本雄二 著**

L708 **宮本雄二 著**

L709 **宮本雄二 著**

L710 **宮本雄二 著**

L711 **宮本雄二 著**

L712 **宮本雄二 著**

L713 **宮本雄二 著**

L714 **宮本雄二 著**

L715 **宮本雄二 著**

L716 **宮本雄二 著**

L717 **宮本雄二 著**

L718 **宮本雄二 著**

L719 **宮本雄二 著**

L720 **宮本雄二 著**

L721 **宮本雄二 著**

L722 **宮本雄二 著**

L723 **宮本雄二 著**

L724 **宮本雄二 著**

L725 **宮本雄二 著**

L726 **宮本雄二 著**

L727 **宮本雄二 著**

L728 **宮本雄二 著**

L729 **宮本雄二 著**

L730 **宮本雄二 著**

L731 **宮本雄二 著**

L732 **宮本雄二 著**

L733 **宮本雄二 著**

L734 **宮本雄二 著**

L735 **宮本雄二 著**

L736 **宮本雄二 著**

L737 **宮本雄二 著**

L738 **宮本雄二 著**

L739 **宮本雄二 著**

L740 **宮本雄二 著**

L741 **宮本雄二 著**

L742 **宮本雄二 著**

L743 **宮本雄二 著**

L744 **宮本雄二 著**

L745 **宮本雄二 著**

L746 **宮本雄二 著**

L747 **宮本雄二 著**

L748 **宮本雄二 著**

L749 **宮本雄二 著**

L750 **宮本雄二 著**

L751 **宮本雄二 著**

L752 **宮本雄二 著**

L753 **宮本雄二 著**

L754 **宮本雄二 著**

L755 **宮本雄二 著**

L756 **宮本雄二 著**

L757 **宮本雄二 著**

L758 **宮本雄二 著**

L759 **宮本雄二 著**

L760 **宮本雄二 著**

L761 **宮本雄二 著**

L762 **宮本雄二 著**

L763 **宮本雄二 著**

L764 **宮本雄二 著**

L765 **宮本雄二 著**

L766 **宮本雄二 著**

L767 **宮本雄二 著**

L768 **宮本雄二 著**

L769 **宮本雄二 著**

L770 **宮本雄二 著**

L771 **宮本雄二 著**

L772 **宮本雄二 著**

L773 **宮本雄二 著**

L774 **宮本雄二 著**

L775 **宮本雄二 著**

L776 **宮本雄二 著**

L777 **宮本雄二 著**

L778 **宮本雄二 著**

L779 **宮本雄二 著**

L780 **宮本雄二 著**

L781 **宮本雄二 著**

L782 **宮本雄二 著**

L783 **宮本雄二 著**

L784 **宮本雄二 著**

L785 **宮本雄二 著**

L786 **宮本雄二 著**

L787 **宮本雄二 著**

L788 **宮本雄二 著**

L789 **宮本雄二 著**

L790 **宮本雄二 著**

L791 **宮本雄二 著**

L792 **宮本雄二 著**

L793 **宮本雄二 著**

L794 **宮本雄二 著**

L795 **宮本雄二 著**

L796 **宮本雄二 著**

L797 **宮本雄二 著**

L798 **宮本雄二 著**

L799 **宮本雄二 著**

L800 **宮本雄二 著**

L801 **宮本雄二 著**

L802 **宮本雄二 著**

L803 **宮本雄二 著**

L804 **宮本雄二 著**

L805 **宮本雄二 著**

L806 **宮本雄二 著**

L807 **宮本雄二 著**

L808 **宮本雄二 著**

L809 **宮本雄二 著**

L810 **宮本雄二 著**

L811 **宮本雄二 著**

L812 **宮本雄二 著**

L813 **宮本雄二 著**

L814 **宮本雄二 著**

L815 **宮本雄二 著**

L816 **宮本雄二 著**

L817 **宮本雄二 著**

L818 **宮本雄二 著**

L819 **宮本雄二 著**

L820 **宮本雄二 著**

L821 **宮本雄二 著**

L822 **宮本雄二 著**

L823 **宮本雄二 著**

L824 **宮本雄二 著**

L825 **宮本雄二 著**

L826 **宮本雄二 著**

L827 **宮本雄二 著**

L828 **宮本雄二 著**

L829 **宮本雄二 著**

L830 **宮本雄二 著**

L831 **宮本雄二 著**

L832 **宮本雄二 著**

L833 **宮本雄二 著**

L834 **宮本雄二 著**

L835 **宮本雄二 著**

L836 **宮本雄二 著**

L837 **宮本雄二 著**

L838 **宮本雄二 著**

L839 **宮本雄二 著**

L840 **宮本雄二 著**

L841 **宮本雄二 著**

L842 **宮本雄二 著**

L843 **宮本雄二 著**

L844 **宮本雄二 著**

L845 **宮本雄二 著**

L846 **宮本雄二 著**

L847 **宮本雄二 著**

L848 **宮本雄二 著**

L849 **宮本雄二 著**

L850 **宮本雄二 著**

L851 **宮本雄二 著**

L852 **宮本雄二 著**

L853 **宮本雄二 著**

L854 **宮本雄二 著**

L855 **宮本雄二 著**

L856 **宮本雄二 著**

L857 **宮本雄二 著**

L858 **宮本雄二 著**

L859 **宮本雄二 著**

L860 **宮本雄二 著**

L861 **宮本雄二 著**

L862 **宮本雄二 著**

L863 **宮本雄二 著**

L864 **宮本雄二 著**

L865 **宮本雄二 著**

L866 **宮本雄二 著**

L867 **宮本雄二 著**

L868 **宮本雄二 著**

L869 **宮本雄二 著**

L870 **宮本雄二 著**

L871 **宮本雄二 著**

L872 **宮本雄二 著**

L873 **宮本雄二 著**

L874 **宮本雄二 著**

L875 **宮本雄二 著**

L876 **宮本雄二 著**

L877 **宮本雄二 著**

L878 **宮本雄二 著**

L879 **宮本雄二 著**

L880 **宮本雄二 著**

L881 **宮本雄二 著**

L882 **宮本雄二 著**

L883 **宮本雄二 著**

L884 **宮本雄二 著**

L885 **宮本雄二 著**

L886 **宮本雄二 著**

L887 **宮本雄二 著**

L888 **宮本雄二 著**

L889 **宮本雄二 著**

L890 **宮本雄二 著**

L891 **宮本雄二 著**

L892 **宮本雄二**

L663 赤ちゃんは「ことば」をどう学ぶのか

針生悦子著

認知科学や発達心理学を研究する著者は、生後6～18ヶ月くらいの子ども、いわゆる「赤ちゃん研究員」の「驚き反応」に着目し、人がどのように「ことば」を理解しているか、という言語習得のプロセスを明らかにしてきた。本書はその研究の概要を紹介しながら、これまでに判明した驚くべき知見を紹介していく。そのプロセスを知れば、無垢な笑顔の裏側に隠された「努力」に驚かされると同時に、赤ちゃんへ敬意を抱くこと間違いなし！

L664 「地方国立大学」の時代—2020年に何が起ころうか

木村誠著

平成に大きく変わった国立大学。国による改革、さらに加速化し始めた少子化や地方の過疎化に加えて2020年に行われる入試改革を通じ、さらなる激変が予想される。そこで本書では、その前半で国立大を取り巻く事情の整理を、後半で復活の成功例として広島大学を中心据え、正しい大学改革の姿に迫ると共に、この先、大学が生き残るために方策を探つていく。地方消滅の危機を目前とする今、地方国立大学による大逆転劇が始まる！

L666 立て直す力

上田紀行著

相次ぐ企業の偽装事件、ストレスで心身を病む会社員、つづく役人の文書改竄・不適切調査、そして長すぎる老後の不安。なぜ、こんな世の中になってしまったのか？ 本書は社会のさまざまな「壁」を前に立ちつくし、苦悩を抱え生きるすべての人に向けて書かれました。著者がフィールドワークで発見したスリランカの「悪魔祓い」、偉大なる仏教思想家や志ある宗教たちの言葉などを通して、生きる哲学としての「立て直す力」を熱く提言します。

L667 A—I倫理

西垣通+河島茂生著

2045年シンギュラリティ（技術的特異点）が訪れ、A—Iが人間よりも正確で賢明な判断を下せるようになる、という仮説がある。では、そのような超知性体」となったA—Iがあやまちを犯し、自動運転車が暴走したり、監視カメラなどで集められたデータによつて差別的な評価選別が行われたりしたとき、誰が責任をとるのか？ そもそも、A—Iが人間を凌駕するという予測は正しいのか。来るべきA—I社会を倫理的側面から徹底的に論じた初めての書。

L668 12人の花形伝統芸能

中井美穂著

歌舞伎、文楽、能、狂言、落語、講談、浪曲から注目の最旬若手をピックアップ。十二歳で襲名し、端正な佇まいと芸で人気を博す市川栄五郎さん「日本一チケットの取れない講談師」と異名を取る神田松之丞さんはじめ、若い世代の情熱に溢れた談話を中井美穂さんが巧みに引き出します。伝統を背負つて立つ悩みや今だから話せる本音に加え、各ジャンルの見所、意外な見方のコツなどもたっぷり語られ、興味を持った初心者にも読みやすい一冊です。

L669 憶めるローマ法王 フランシスコの改革

秦野るい子著

就任当初は貧者に寄り添う姿勢などから高い評価を得、米フォーチュン誌が「世界で最も偉大な指導者」に選んだフランシスコ。しかしその改革路線、重要な教義変更は支持層と反対派の亀裂を招き、金銭скиヤンダルや性的虐待の問題も起きて混乱も生じている。フランシスコのもと、カトリック教会はどこに向かおうとしているのか。バチカンの内部事情に詳しい著者の力作。関係写真も多数収録し、幅広い読者向けにバチカンの現在を案内する一冊。

L670 神社で拍手を打つな！—日本の「しきたり」のウソ・ホント

島田裕巳著

神社に掲げられる「二礼二拍手一札」は伝統的な作法なんかじゃない!? 初詣は鉄道会社の営業戦略だった！ 郊外の墓参りはハブルが生んだ年中行事！ 結婚式のご祝儀もお葬式の半返しも伝統なんかじゃない！ そもそも、クリスマスはキリスト教に関係がない！ 日本人が「しきたり」と思っている行事には、「ごく最近生まれたものが少なくない」私たちがは「しきたり」とどう向き合えばいいのか。「しきたり」の概念を根底から覆す一冊。

L671 見えない戦争

田中均著

大国主義（トランプ、習近平、過激な主張外交（金正恩、文在寅））がボビュリズムに乗じて勢いを増す中、戦火を交えるわけではない、「見えない戦争」が世界中で起つつつある。静かに迫り来る「有事」と、牙をむく為政者たちに対し、日本はなすべきがないのか？ 日米経済摩擦、日米安保協力・基地返還、北朝鮮外交…交渉によって「不可能」を可能にした。日本外交きつての戦略家が「見えない戦争」を生き抜くための一冊」とメソッドを伝授する。電子マネーにキャッシュレスサービス、仮想通貨とブロックチェーン。2019年、フィンテックという言葉のとともに、あらゆる場面の根幹にある「お金」のあり方が変わり始めた。インターネットと社会の関係を研究してきた著者は、この先、貨幣経済が衰退する可能性は高く、その未来にニユーホエノミーが立ち上がる」と主張する。では「お金」が消滅した先社会はどう変わり、私たちは何を欲しく生きる。この本を手に混沌たる世界を進め！ GSOMIAをめぐり揺れに揺れた日韓。両国はついに全面衝突の様相に。「安倍政権が韓国を巧妙に追い詰め破棄させたのだ。この手法は、日本を開戦に踏み切らせたハル・ノートを思わせる。短期的には「完勝」（佐藤優氏）だが「長期の観点に立てば極めて危うい一手」（手嶋龍一氏）だ。北東アジアに生じた日米韓の安保体制の結びを、中露北が衝こうとしている。果たしてニッポンに苛烈な国際政局を生き抜く秘策はあるか。

L672 2049年「お金」消滅

斎藤賢爾著

「トランプ・ドミノ」が誘発する—貨幣なき世界の歩き方

820円
150673-6

820円
150671-9

860円
150670-2

900円
150668-9

860円
150667-2

820円
150666-5

880円
150664-1

150663-4

L673 日韓激突

手嶋龍一+佐藤優著

GSOMIAをめぐり揺れに揺れた日韓。両国はついに全面衝突の様相に。「安倍政権が韓国を巧妙に追い詰め破棄させたのだ。この手法は、日本を開戦に踏み切らせたハル・ノートを思わせる。短期的には「完勝」（佐藤優氏）だが「長期の観点に立てば極めて危うい一手」（手嶋龍一氏）だ。北東アジアに生じた日米韓の安保体制の結びを、中露北が衝こうとしている。果たしてニッポンに苛烈な国際政局を生き抜く秘策はあるか。

L674 伝説の特捜検事が語る 平成重大事件の深層

鎌田 熊崎勝彦 著
伊藤 貴 著

L675 スマホの中身も「遺品」です —デジタル相続入門

古田 雄介 著

L676 海底の支配者 底生生物 —世界は「巣穴」で満ちている

清家弘治 著

L677 歴史に残る外交三賢人 —ビスマルク、ターレー、ドゴール

伊藤 貴 著

L678 英語コンプレックス 粉碎宣言

鳥飼 玖美子 + 斎藤 孝 著

L679 新装版 学術的に「正しい」 若い体のつくり方

—なぜあの人だけが老けないのか？

谷本道哉 著

L680 歌舞伎に女優がいた時代

小谷野 敦 著

L681 森光子 百歳の放浪記

川良浩和 著

L682 駅名学入門

今尾恵介 著

L683 地域と繋がる大学 —神戸学院大学の挑戦

佐藤雅美 著

大学は震災で何を学んだか？ 一九九五年（平成七年）阪神・淡路大震災で関西地区は大きく壊滅した。震源地に一番近い大学として神戸学院大学は「社会との絆」「いのちの大切さ」を教育の指針に置き、地域コミュニティの復興に尽力した唯一の大学となった。その後、大

学、産業界、自治体、地域との連携に成功。本書では、防災、ボランティアなど地域での意義や今後のあり方を展望する。多くの発見と知的刺激に満ちた本。

【高輪ゲートウェイ】開業で一躍注目を集めた駅名。日本の駅名とは、そもそもどういうものか。その歴史的変遷から浮かび上がってくる、思想、そして社会的・経済的・文化的な背景とは。さらには、「高輪ゲートウェイ」のようなキラキラ駅名はいかなる文脈から発想されるのか。駅の命名名メカニズムを通して、社会構造の変化や地名との関係、さらに公共財としての意義や今後のあり方を展望する。

880円
150683-2

880円
150682-5

出雲の阿国が始祖だといわれつても男が演じるものとされてきたのが歌舞伎である。だが実際には歌舞伎には女の役者がいた時代がある。江戸時代に大名屋敷などで演じていた「お狂言師」、明治時代に大衆の人気をほこった「女團圓」とこと市川九女八ら、女歌舞伎役者たちなどがそうである。女形のかわりではない女優「ちちゅえ」の苦悩や葛藤、そして彼らの演劇史への功績を、歌舞伎役者の家に生まれた女優たちもからめて描く。

890円
150681-8
150680-1

二〇二〇年五月で生誕一百周年となる森光子。女優としては遅咲きながら、四〇代で主役の座を射止めた「放浪記」は上演二〇〇〇回を超えるロングランとなつた。「日本のお母さん」として親しまれ、二〇〇九年には国民栄誉賞も受賞。本書では、浜木綿子、黒柳徹子、奈良朋子、石井ふく子、東山紀之、堂本光一ほか、彼女の人生に寄り添つた方々にインタビューを行い、その貴重な証言から波瀾の生涯と、舞台に立とうとし続けた大女優の姿を描く。

840円
150679-5
150678-8

同級生なのに老けないあの人には理由があつた！ 国民総肥満、定年延長が叫ばれる昨今、スリムで70歳まで働けるカラダづくりはもはや必須科目。そこで今すぐ始められる筋トレと食事術を、あの人気T.V番組出演の谷本先生が徹底解説。学術的に「正しい」若返り法を伝授します。階段は使わないと大損？ 今日の10分筋トレがあなたの人生を決める？ メタボ、ロコモ対策もこれ一冊でOK。筋肉こそ、生涯の友である！

840円
150677-1
150678-8

歌舞伎には女性の役者がいた時代がある。江戸時代に大名屋敷などで演じていた「お狂言師」、明治時代に大衆の人気をほこった「女團圓」とこと市川九女八ら、女歌舞伎役者たちなどがそうである。女形のかわりではない女優「ちちゅえ」の苦悩や葛藤、そして彼らの演劇史への功績を、歌舞伎役者の家に生まれた女優たちもからめて描く。

880円
150676-4
150675-7

スマホやパソコンなどのデジタル機器に遣された、故人の情報を意味する「デジタル遺品」。実際に金銭的価値を持つものが増えた一方、他人では詳細が分からぬのが多く、実際に相続の場で問題化し始めている。SNSにネット銀行、生体認証、サブスクサーキスの浸透を前に、私たちはどう対応し、準備すべき？ 契約者以外がログインすれば違法？ 契約者が亡くなれば〇〇ペイの残高は消える？ そのスマホもはや放置は許されません！ 東京地檢特捜部。日本の「聖域」に切り込む「ドブさい」集団。「巨悪を眠らせない」を使命とする特捜検察が摘出された、平成時代の「巨悪」とは何だったのか？ バブルに酔いしれた「カネ余り日本」の贈収賄事件、金融・建設業界と政官との構造的醜聞、「最強官庁」の汚職に切り込み、日本の市場構造を塗り替えた大蔵省汚職事件。特捜部長としてこの空前絶後事件の捜査指揮したキーパーソンが、政官財を巻き込んだ重大事件を検証する。

980円
150674-0

新装版 「遊ぶ」が勝ち

為末 大 著

「第三者委員会」の欺瞞

— 報告書が示す不祥事の呆れた後始末

八田進一 著

教養としてのプログラミング講座

清水 亮 著

神になつた日本人

— 私たちの心の奥に潜むもの

小松和彦 著

イスラム、ヒンズー、ユダヤ教...宗教別おもてなしマニュアル

島田裕巳 著

お父さんは認知症

— 父と娘の事件簿

田中亜紀子 著

街場の親子論

— 父と娘の困難なものがたり

内田 樹 + 内田るん 著

中国、科学技術霸権への野望

— 宇宙・原発・フーウェイ

倉澤治雄 著

ゴールドマン・サックス流 女性社員の育て方、教えます

— 情報コミュニティーの新たな地殻変動

手嶋龍一 + 佐藤 優 著

L693 公安調査厅

— 励まし方、評価方法、伝え方

キヤシー 松井 著

820円
150693-1

840円
150692-4

860円
150691-7

900円
150690-0

800円
150689-4

820円
150688-7

900円
150687-0

860円
150686-3

820円
150684-9

世界陸上選手権のハーフル競技で銅メダルを二度勝ち取り、オリンピックにも三度出場。その後はスポーツと教育に関する活動を行い、ビジネスの世界に挑戦している「走る哲学者」の原動力とは何か?「人間は遊ぶ存在である」競技生活晩年、記録が伸びず苦しめたときに出合った名著に重要なヒントがあった。世界の第線で闘つた競技生活を振り返り、「遊び」という身体感覚を言語化する。「努力が報われない」と悩む人たちへ贈る心の操縦法。

不祥事を起こした企業や行政組織が、外部の専門家に委嘱して設置し、問題の全容解明、責任の所在の明確化を図るはずの「第三者委員会」。だが、真相究明どころか、実際は関係者が身の潔白を「証明」する「神のツール」になつていてることも少なくない。調査中は世間の追及から逃れる「隠れ蓑」になり、ほとばしり冷めかけた頃に、たいてして問題はなかつた」と太鼓判を押すような報告書もあるのだ。第三者委員会を徹底分析する。

もの言わぬ機械とコミュニケーションをとる手段、「プログラミング」。その歴史から簡単な作成、生活に役立つテクニックなどを網羅し、たつた一冊でプログラマーの思考法を手に入れることが可能としたのが「教養としてのプログラミング講座」である。「もはやそれは誰もがまなぶべき教養」というメッセージを掲げたロングセラーをこのたび増補。小中学校で必修となる2020年刊行する。ジョブズにゲイツ、現代の成功者はどんな世界を見ている?

古来、日本人は実在した人物を、死後、神として祀り上げることがあった。空海、安倍晴明、平将門、崇徳院、後醍醐天皇、徳川家康、西郷隆盛……もちろん、誰でも神になれるわけではない。そこには、特別な「理由」が、また残された人びとが伝える「物語」が必要となる。死後の怨霊が祟るかもしれない、生前の偉業を後世に伝えたい——。11人の「神になつた日本人」に託された思いを探りながら、日本人の奥底に流れる精神を掘みだすとしよう。

激増する外国人観光客。だが「無宗教」の日本人はいまひとつ異教徒のタブーがわからない。そもそもハラールって何だ。酒を飲むイスラム教徒がいるのに、アルコール消毒まで禁止の中、驚愕の姿で併む父……。これはもう、事件簿としか言いようがない! バブル期にOLズバーガーNG。安息日はスマホもいじれない!? 異教徒をもてなす際におさえておきたいポイントを宗教別に解説する入門書。ホテル、レストラン、観光地のスタッフも必見。

父が認知症になつた! それなのに運転免許証を絶対に手放さうとしない父。もうちょっとで火事を出しそうになつたり、病院で大暴れをしたり。気が付くと部屋は血の海、そんな中、驚愕の姿で併む父……。これはもう、事件簿としか言いようがない! バブル期にOL

生活を送り、これまで自由を謳歌してきた著者が、独りで認知症の父と向き合うこと。人

わが子への怯え、親への嫌悪。誰もが感じたことのある「親子の困難」に対し、名文家・内田樹さんが原因を解きほぐし、解決のヒントを提示します。それにしても、親子はむずかしい。その謎に答えるため、1年かけて内田親子は往復書簡を交わします。微妙に噛み合つていながが、ところどころで弾ける父娘が往復書簡をとおして、見つけた「もの」とは? 笑

かがり出した。本邦初の驚きの真実も明らかされる。公安調査厅から目を離さない。

近年ノバーチョン分野で驚異的な発展を遂げた中国。米国と中国の対立は科学技術戦争へと戦線をエスカレートさせ、世界を揺るがす最大の課題の一つとなつて。本書では「アーウェイ問題」を中心に、宇宙開発、原子力開発、デジタル技術、大学を含めた高等教育の最新動向などから、米中新冷戦の構造を読み解き、対立のはざまで日本は何をすべきか問題提起する。著者がアーウェイを取り材した際の貴重な写真・証言も多数収録。

公安調査厅は謎に包まれた組織だ。日頃、どんな活動をしているのか、一般にはほとんど知られていない。それもそのはず。彼らの一級のインテリジェンスによって得られた情報は、かつたコツがあるのです。本書は、「優秀な女性を育て、会社に愛着を持つてもいい、かづバフォーマンスを上げてもらうために何をすればいいのか」と人知れず悩む日本全国の管理職や人事担当者のために書きました。女性社員の支援をめぐりゴールドマン・サックスが行ってきた取り組みを紹介します。御社の組織力向上の一助になれば幸いです。

歯医者さんのかかり方

L694

回想のすすめ
— 豊潤な記憶の海へ

渡辺勝敏 著

日本人は歯の取り扱い方法を問えただらしい。子供の虫歯は減っているが、成人の虫歯は増えている。歯磨きをしているのに、きちんと磨けていない人は多い。虫歯で神経を抜く治療を受けると、4から6割が失敗して再発しているのが現実だ。成人の8割が歯周病にかかりて、歯を失ってしまう。定期検診、虫歯や歯周病の治療、矯正、入れ歯、インプラントなど、記者として取材し、自らの体験をはじめてお伝えする歯医者さん選びの新常識。

五木寛之 著

不安な時代にあっても変わらない資産がある。それは人間の記憶、一人ひとりの頭の中にある無尽蔵の思い出だ。年齢を重ねれば重ねるほど、思い出が増えていく。記憶という資産は減ることはない。齧を重ねた人ほど自分の頭の中に無尽蔵の資産があり、その資産をもとに無限の空想、回想の荒野のなかに身を浸すことができる。これは人生においてとても豊かな時間なのではないだろうか。最近しきりに思うのだ。回想ほど贅沢なものはない。

新装版 思考の技術
— エコロジー的発想のすすめ

立花 隆 著

新興感染症の流行と相次ぐ異常気象。生態系への介入が引き起こす「自然の逆襲」が加速化している。自然と折り合いをつけるために我々が学ぶべきものは、生態学（エコロジー）の思考技術だ。組織内の食物連鎖、部下のなれば根性を尊重せよ、「寄生者と宿主」の生存戦略、「清濁あわせ呑む」大人物が出現する——。自然の「知」は仕事上の武器になる。「知」の巨人「立花隆の思考法」の根幹をなすデビュー作を復刊。[知の怪物] 佐藤優氏解説。

世紀の落球
— 「戦犯」と呼ばれた男たちその後

澤宮 優 著

北京五輪の野球日本代表となったG.G.佐藤。今も語り継がれる高校野球星稜・箕島戦の星稜「墨手加藤直樹」最終戦で敗れ、巨人のV9を阻止できなかつた阪神の池田純一中堅手。彼らは、大事な試合で大きなミスを犯したとして、ファンやマスコミから非難を浴び、人生が暗転した。理不尽なバッシングはどう戦い、そして立ち直ったのか。「落球」の烙印を負った男たちの「その後」を迎えるスポーツノンフィクション。

東京レトロ写真帖

読売新聞都内版編集室 秋山武雄 著
編から72編を選んだ、中公新書ラクレ「東京懐かし写真帖」の続編。

L698

L699 たちどまつて考える

ヤマザキマリ 著
パンデミックを前にあらゆるもののが停滞し、動きを止めた世界。17歳でイタリアに渡り、ギューバー、ブラジル、アメリカと、世界を渡り歩いてきた著者も強制停止となり、その結果「今たちどまることが、実は私たちは必要だったかもしない」という想いにたどり着いた
という。混こんとする毎日のなか、それでも力強く生きていくために必要なものは？
自分の頭で考え、自分の足でボーダーを超えて。あなただけの人生を進め！

L700 疫病 VS 神

島田裕巳 著
厄から逃れようとしてきた。都の発展は病の流行を生み、疫病退散のために祇園祭が行われた。また天然痘やインフルエンザなど、ある種の疫病は「怨靈」として、人々から恐れられてきた——。そこには、一神教の世界とは異なり、多神教の日本だからこそその疫神を祀るという行為がある。長い歴史の中で、日本人はどうにして病と闘ってきたのだろうか。

L701 韓国の若者
—なぜ彼らは就職・結婚・出産を
—山小屋に爪楊枝はない

安宿緑 著

「爪楊枝が、山小屋にはなぜないのだろう？」NHKラジオ「山カブエ」のマスターとして行けば、すぐに病名が付き、薬も処方されます。けれど、どんな病名が付いたとしても、子どもの本当の悩みと向き合はずに問題が解決することはあります。思春期の子どもの心の悩みの背景には親子関係や両親の夫婦間関係の問題が隠れていることが多いのです。子どもが再び前回に生きるために、親が家庭の中できることがあるのです。

石丸謙一郎 著

先が見えない日韓情勢。一方で若者の生き辛さを描いた翻訳文芸書やドラマが日本国内でもヒットするなど、その実態への関心が高まっている。実際、大卒者が国民の8割近くを占める山小屋でのマナー。おすすめのストレッチ法や、大自然との触れ合いの方、そして、一歩上の山の愉しみ方……。アウトドアの達人としても知られ、50年近く山登りに親しんできた著者による、山へのいざない。まずは近場の山から、週末あたり登りに出かけてみませんか？

L702 山へようこそ

—山小屋に爪楊枝はない

840円
150703-0

L703 不登校、うつ状態、発達障害、思春期に心が折れた時、親がすべきこと
—コロナ禍でも「できる」解決のヒント

関谷秀子 著

860円
150703-7

L700

不登校、うつ状態、発達障害、思春期に心が折れた時、親がすべきこと
—コロナ禍でも「できる」解決のヒント

関谷秀子 著

860円
150703-7

L699

疫病 VS 神

820円
150700-6

L698

疫病 VS 神

820円
150701-3

L697

世紀の落球

800円
150697-9

L698

東京レトロ写真帖

1100円
150698-6

L699

たちどまつて考える

1100円
150699-3

L698

疫病 VS 神

820円
150695-5

不登校、うつ状態、発達障害、思春期に心が折れた時、親がすべきこと
—コロナ禍でも「できる」解決のヒント

関谷秀子 著

860円
150703-7

不登校、うつ状態、発達障害、思春期に心が折れた時、親がすべきこと
—コロナ禍でも「できる」解決のヒント

L704 大学とオリンピック 1912-2020

—歴代代表の出身大学ランキンギング

L705 女子校礼讃

辛酸なめ子 著

辛酸なめ子が女子校の謎とその魅力にせまる！あの名門校の秘密の風習や、女子校で生き抜くための処世術、気になる恋愛事情まで、知られざる真実をまびらかにする。在校生へのインタビュー・や文化祭等校内イベントへの潜入記も充実した、女子校研究の集大成。読めば女子校育ちは「あるある」と頷き、そうでない人は「そうなの!」と驚き、受験生はモチベーションがアップすること間違いなし。令和よ、これが女子校だ！

L706 初歩からのシヤーロック・ホームズ

北原尚彦 著

1887年、「緋色の研究」にて世に登場して以来、シャーロック・ホームズは小説、コミック、映像、ゲームなどメディアの変遷に乗り、名探偵として世界中で親しまれています。在校生へ本書は、日本本指の研究家がそんなホームズの人気と謎に迫り、魅力を初歩から解説します。

L707 その日なぜ信長は本能寺に泊まつていたのか

—史談と奇譚

中村彰彦 著

織田信長が演出した「安土宗論」をへて本能寺の変が勃発した当時、京都の法華宗寺院はどのような状態になっていたのか。主家再興に奔走し非業の死をとげた山中鹿介と、毛利本家の血統を守った小早川隆景の運命を分けたものはないか。浅沢栄一から見た大久保利通と西郷隆盛に対する人物評価の違いとは—。戦国・幕末の激動期を中心に、埋もれていたエピソードを発掘し、歴史の面白さを満喫させてくれるエッセイ54篇を収録。

L708 コロナ後の教育へ

—オックスフォードからの提唱

苅谷剛彦 著

教育改革を前提から問い合わせてきた論客が、コロナ後の教育像を緊急提言。オックスフォード大学で十年余り教鞭を執った今だからこそ、伝えられること—そもそも二〇二〇年度は新指導要領、GIGAスクール構想、新大学共通テストなど一大転機だった。そこにコロナ禍が直撃し、オンライン化が加速。だが、文科省や経産省の構想は、格差や「知」の面からソードを発揮し、歴史の面白さを満喫させてくれるエッセイ54篇を収録。

L709 ゲンロン戦記

—「知の観客」をつくる

東 浩紀 著

「数」の論理と資本主義が支配するこの残酷な世界で人間が自由であることは可能なのか？「観客」「誤配」という言葉で武装し、大資本の買収・味方の分断にあらがう、東浩紀の「生き延び」の思想。哲学とサブカルを縦横に論じた時代の寵児は、2010年、新たな知識的空間の構築を目指して「ゲンロン」を立ち上げ、戦闘を開く。いつかん華々しい戦績の裏にあつたのは、予期せぬ失敗の連続だった。ゲンロン10年をつづるスリル満点の物語。

L710 菅政権と米中危機

—「大中華圏」と「日米豪印同盟」のはざまで

手嶋龍一+佐藤 優 著

菅新政権の外交マシンが動き出した。烈しい米大統領選を経て米国の対中姿勢は、一段と厳しさを増す。菅政権は、日米同盟を基軸に据えて「習近平の中国」と対話をを目論む。だが、北京は安倍政権のキングメーカーにして対中宥和派、二階俊博幹事長を通じて日米同盟に楔を打ち込もうと布石を打ちつづける。菅総理は、安倍辞任の空白を埋めて、緊迫の東アジアに戦略上の安定を創りだせるのか。知られざる「菅機関」の内実を徹底分析。

L711 無心のすすめ

—無駄なものをそぎ落とす

桜野俊明 著

禅の世界は「過去」も「未来」も存在しません。あるのは「今」という一瞬だけです。その一瞬一瞬を丁寧に生きる。ひとつのことにも執着せず、自分がやるべきことに集中する。それが「無心」です。邪念、我欲、煩惱、執着から離れたところに「無心」があります。本書は、人生を豊かなものにしてくれる「シンプルな生き方」を実践するための手引き書です。自分自身が独自の視点で描き出す。混沌たる今こそ、日本史「最強」宗茂に学べ！

L712 立花宗茂

—戦国「最強」の武将

加来耕三 著

九州地方を中心活動した戦国武将、立花宗茂。島津征伐や朝鮮出兵など、激戦を重ねて生涯無敗、あの秀吉も「日本本無双」と賞賛を送った。関ヶ原の戦い後に大名から浪々の身になると、再び徳川家に取り立てられる、ついには大名として旧領復帰を果たしたというその生涯から地元では大河ドラマ化が切望されている。今回、波乱に満ちた生き方を歴史家・加来氏が独自の視点で描き出す。混沌たる今こそ、日本史「最強」宗茂に学べ！

L713 動物園・その歴史と冒險

溝井裕一 著

920円
150713-6

880円
150712-9

840円
150711-2

840円
150710-5

日本のオリンピックの歴史は大学抜きには考えられない。戦前、オリンピックの精神として貴かれたアマチュアリズムに因り、両者の親和性は極めて高い。実現には至らなかつた1940年東京大会では、構想から大学が深く関わつた。戦後、企業スポーツ隆盛の時代へと移つてもなお、大学生オリンピアンは不滅だ。1991年大会から2020年東京大会まで

小林哲夫 著

900円
150704-4

900円
150705-1

L714 大学はどうまで「公平」であるべきか

—「公平」であるべきか

L715 自由の限界

—世界の知性21人が問う

国家と民主主義

橘木俊詔 著

鶴原徹也 編

教育機会の平等・均等路線の先で混迷を極める入試改革。著者はその状況に「繕われた公平さに意味などない」「世界で通用する大学やエリートを生み出せるのか」と警鐘を鳴らす。ド、ユヴァル・ノア・ハラリ……彼らは世界の激動をどう見るか。二〇一五年のシャルリ・エブド事件から「イスラム国」とアメリカ、イギリスのEU離脱、トランプ米大統領と米中対立、そして二〇二〇年のコロナ禍まで、具体的な出来事を軸とした三八本のインタビューを集成。人類はどこへ向かおうとしているのか。世界の「今」と「未来」が見えてくる。

天安門事件・香港デモ、新型コロナ流行、薄熙来事件、アリババ台頭、孔子学院……。激動する国家に翻る「秘密結社」を知らないで、どうやつて現代中国がわかるのか？ 清朝に起源を持つチヤイニーズ・フリーメーソン「洪門」、中国共産党の対外工作を担う「中国致公党」、カルト認定された最大の反共組織「法輪功」。大宅壮一ノンフィクション賞作家が、結社の行う「中国の壊し方」と「天下の取り方」に迫り彼らの奇怪な興亡史を鮮やかに描き出す。

L716 現代中国の秘密結社

—マフィア、政党 カルトの興亡史

安田峰俊

著

L717 ビジネスパークのための「言語技術」超入門

—プレゼン・レポート・交渉の必勝法

三森ゆりか 著

著

L718 老いる意味

—うつ、勇気、夢

森村誠一 著

著

社会で真に求められるのは、論理的思考力を活用して考察し、口頭や記述で表現できる人材である。しかし「国語」の教育は受けたはずなのに、報告書が書けない、交渉も分析もできないという社会人は多い。これまで有名企業や日本サッカー協会などで「言語技術」を指導してきた著者が、社会に出てから使える本当の言語力「世界基準のコミュニケーション能力」を身につけるためのメソッドを具体的に提示。学生・ビジネスパーソン必読の一冊！

L719 「失敗」の日本人史

—令和編
世界の日本人ジョーク集

本郷和人 著

著

メディアで引っ張りだこの東京大学史料編纂所・本郷和人先生が、「日本史×失敗」をテーマにした新書を刊行！ 元寇の原因、実は鎌倉幕府側にあった？ 生涯のライバル、上杉謙信・武田信玄ともに跡取り問題でしくじったのはなぜ？ 明智光秀重用は織田信長の失敗だと断言できる？ 日本史を彩る英雄たちの「失敗」を検証しつつ、そこからの学び、さらには「もし成功していたら」という今まで展開。失敗の中にこそ、豊かな学びはある！

—青春・政治・野球・大病
L721 増補版 わが人生記

渡邊恒雄 著

著

突然、管理職に抜擢された！ 年上の部下、派遣社員、外国人の活用方法がわからない！ 飲みニケーションが通用しない！ プレイヤーとしても活躍しなくちゃ！ 社会は激変し、一昔前よりマネジメントは格段に難しくなった。困惑するのも無理はない。人材育成研究と膨大な聞き取り調査を基に、社の方針の伝達方法、多様な部下の育成、活用策、他部門との調整、交渉のコツなどを具体的に助言。新任マネジャー必読！ 管理職入門の決定版だ。

—7つの挑戦課題を「科学」する
L722 増補版 駆け出しマネジャーの成長論

中原 淳 著

著

—科学技術立国は復活できるか
L723 「スペコン富岳」後の日本

著

小林雅一 著

争下における日本の戦略や、スペコンをはじめとする企業などに取材を重ね、米中ハイテク競争

（創業

がんがノム治療

宇宙など）注目AI企業などに取材を重ね、米中ハイテク競争

を展望する。

840円

150723-5

900円

150722-8

860円

150720-4

800円

150718-8

840円

150718-1

880円

150715-0

800円

150714-3

L724 鳥取力

— 新型コロナに挑む小さな県の奮闘

L725 ニッポン未完の民主主義

— 世界が驚く、日本の知られざる

無意識と弱点

池上

彰 + 佐藤 優 著

L726 東京を捨てる

— コロナ移住のリアル

澤田晃宏 著

L727 「超」メモ革命

— 個人用クラウドで、

仕事と生活を一変させる

野口悠紀雄 著

L728 「定年後知的格差」時代の勉強法

— 人生100年。

大学で学び、講師で稼ぐ

櫻田大造 著

L729 戦乱中国の英雄たち

— 三国志、『キングダム』、

宮廷美女の中国時代劇

佐藤信弥 著

L730 カラーブ版 やつてみよう！ 車中泊

— 才能を伸ばす子育て 潟す子育て

中邑賀龍 著
若江雅子 著

L731 どのも違う

— 孤立社会が生む新しい病

膨張GABAとの闘い

デジタル敗戦 震が闇は何をしたのか

L733 潛入・ゴミ屋敷

— 日本がそれを見易く許した一因に、にわかに信じが

きつい、汚い、危険。この「3K」で究極の仕事 ゴミ屋敷清掃。山積みのゴミを片付ける東

たい法制度の不備がある。国内企業に及ぶ規制が海外勢には及ばない「一国二制度」や、EUに比べて確かに弱い競争法やプライバシー規制、イノベーションを阻害する時代遅れの業法……。震が闇周辺にはそれらに気づき、抗おうとした人々がいた。本書はその闘いの記録であり、また日本を一方的なデジタル敗戦に終わらせないための処方箋でもある。

篠井恵里子 著

だけではなく、ときには虫がわいている箇所に手を突っ込み、人の便や尿さえも処理しなければならない。誰もやりたくないが、誰かがやらなければいけない。著者は、取材記者として自分を捨て、作業員の一人として、なりふり構わず片付けにあたった多くの惨状を目撃した。たまにした現場レポートと、ゴミ屋敷化する原因と治療法を迫り求めたルボルタージュ。

900円
150732-7

860円
150731-0

1100円
150730-3

840円
150729-7

860円
150728-0

860円
150726-6

鳥取県は、日本で最も小さな県である。中国地方の片田舎としか認識されず、企業誘致を提案しても苦笑いされた。しかし大震災と新型コロナ感染拡大により時代の空氣と価値観が変わった。鳥取を魅力的な場所と思つてもらえるようになった。新型コロナ感染症対策では、ドライブスルーのPCR検査を導入し独自の施策を展開。クラスター対策条例なども施行し感染者が一番少ない県となつた。本書では、小さな県の大きな戦いを徹底紹介する。

首相交代は「禅譲」、コロナ禍の責任を専門家に押し付け、日本学術会議の会員任免拒否の説明は社離職。大丈夫か、この国は。これじゃまるで、「未開国」。それもそのはず。なぜなら、戦後ニッポンの民主主義は世界の潮流をよそに独自の生態系に「進化」してきたのだから。なぜ、検察を正義と誤認するのか。なぜ、「右」から「左」まで天皇制を自明のものとするのか。世界も驚く日本型民主主義の不思議を徹底分析。

都会の「密」な生活から脱しようと、地方移住への関心が高まつて。コロナ流行後に東京から兵庫県淡路島に移住した著者が、コロナ移住者や移住支援機関、人気自治体を訪ね歩き、コロナ下の人の動きを徹底取材。注目を集め地域おこし協力隊や新規就農の実態もレポートする。田舎の生活費や補助金情報、空き家の探し方から中古車の選び方まで、地方移住に関する実用的な情報を網羅し、ガイドブックとしても読める1冊だ。

紙片に「メモ」をとつたらその紙片がなくなつて困つてしまつた。こんな経験が誰もあるだろう。忘れないように書きとめたりちよつとしたりを思いついて書いたら「メモ」。本書は、そんなふつうの「メモ」を、スマートフォンなどのデジタルデバイスを使って、気軽にクラウドにあげ、有能な個人秘書のような存在。「超」アーカイブを手に入れようといふ提案だ。そうすれば、情報洪流の中から来たるべき技術革新の時代を生き抜くことができる。

780円
150725-9

150726-6

150727-3

150727-6

NETFLIX 戦略と流儀

長谷川朋子 著

映像業界の異端児は、どこへ向かうのか。ネットファースト展開というビジネスモデルでエンターテインメント業界へ風穴を開け、既存の慣習を壊しながら驚異的な成長を遂げている、米動画配信大手ネットフリックス。「ハウス・オブ・カード」の成功から2019年には「ROMA／ローマ」でアカデミー賞を受賞。日本でも『全裸監督』や『愛の不時着』で話題をさらった。ヒット作を生み続ける彼らの、美貌と裏側に迫る。

L745 パンツを脱いじやう

子どもたち

—発達と放課後の性

坂爪真吉 著

楽しい孤独
小林一茶はなぜ辞世の句を詠まなかつたのか

大谷弘至 著

L746 孫酸なめ子の独断！

流行大全

辛酸なめ子 著

L747 中國「コロナ封じ」の虚実

—デジタル監視では14億人を統制できるか

高口康太 著

L748 「命」の相談室

—僕が10年間少年院に通つて考えたこと

ゴルゴ松本 著

L749 「命」の相談室

なぜ人に会うのはつらいのか

斎藤 環+佐藤 優 著

L750 イケズな東京

—150年の良い遺産、ダメな遺産
—自肃警察からキヤンセルカルチャーマで

井上章一+青木 淳 著

L752 炎上社会を考える

伊藤昌亮 著

L753 エリートと教養

—ボストコロナの日本考

村上陽一郎 著

政治家は「言葉の力」で人々の共感を醸成できるのか？専門家は学知を社会にどのように届けるべきか？不信感と反感が渦巻く今こそ、エリートの真価が試されている。そこで改めて教養とは何か、エリートの条件とは何か、根本から本質を問うた。政治・日本語・音楽・生命・文理の枠に収まらない多角的な切り口から、リベラル・アーツとは異なる「養」の本質をあぶりだす。『ベスト大流行』の著者、科学史・文明史の領域からのメッセージ。

860円
150753-2

840円
150752-5

840円
150751-8

860円
150749-5

860円
150748-8

860円
150747-1

900円
150745-7

820円
150744-0

L754 裏切り者は顔に出る

—上司、顧客、家族のホンネは「表情」から読み解ける

清水建二著

L755 メタ認知

—あなたの頭はもっとよくなる

三宮真智子著

L756 データ分析読解の技術

菅原 琢著

L757 数字中国

—コロナ後の「新経済」

西村友作著

L758 「合戦」の日本史

—城攻め、奇襲、兵站、陣形のリアル

本郷和人著

L759 老いを愛づる

—生命誌からのメッセージ

中村桂子著

L760 60代からの幸福をつかむ極意

—「20世紀最高の知性」ラツセルに学べ

齋藤 孝著

L761 娼婦の本棚

鈴木涼美著

L762 孤独の哲学

—「生きる勇気」を持つために

岸見一郎著

L763 弘兼流 60歳からの手ぶら人生

増補版

弘兼憲史著

大人しかった男性が、突如として暴力をふるう。「大丈夫です」と言っていた部下が、急に退職する。実は、その前兆はすべて顔に表れていた—。幸福、軽蔑、嫌悪、怒り、悲しみ、驚き、そして恐怖。こうした感情は、国や文化を問わず、いつでも、どこでも、誰にでも、同じ表情として顔に生じる。「表情分析」スキルは、米軍、FBI、CIAでも駆使されており科学的な技術だ。その真髓を、犯罪捜査にも協力してきた著者が披露する。

頭のよさとは何か? その答えの鍵となるのが、「メタ認知」。自分の頭の中にいて、冷静で客観的な判断をしてくれる「もうひとりの自分」。それが「メタ認知」だ。この「もうひとつの自分」がもっと活躍すれば、「どうせできない」といったメンタルブロックや、いつも繰り返してしまう過ち、考え方のクセなどを克服して、脳のパフォーマンスを最大限に發揮することができる!

認知心理学、教育心理学の専門家が指南する、より賢い「頭の使い方」。「データ分析ブーム」がもたらしたのは、怪しい「分析らしきもの」と、それに基いた誤解や偏見……。本書では、「問題」「解説」を通して、データ分析の失敗例を紹介しながら、データを正しく読み解くための実践的な視点や方法、また、思考に役立つ基礎的な知識やコツを紹介していく。誤った分析をしてしまわないため、そして騙されないための、基本的・実践的な読み解きと思考の方法とは——。

新型コロナの震源地・中国はなぜ感染を抑え、プラス成長を達成できたのか? 当局はなぜアリババ集團ら巨大ITへの統制を強めるのか? コロナ禍にあえぐ米欧を横目に、中国はどうしてデジタル防疫・経済成長・デジタル金融の三位一体を実現。霸権的な政治体制だけでは説明できない重要な経済ファクターがある。民間需要を取り込み、政府主導で建設が進むデジタル・チャイナがその答えだ。ヘルルに包まれた「世界最先端」のDX戦略の実態を描き出す。

戦後、日本の歴史学においては、合戦=軍事の研究が一種のタブーとされてきました。このため、織田信長の桶狭間の奇襲戦法・源義經の「ノ谷の戦い」における鶴越の逆落としなどは、「盛つて語られるばかりで、学問的に価値のある資料から解き明かされたことはありません」。城攻め、奇襲、兵站、陣形……。歴史ファンたちが大好きなテーマですが、本当のところは、どうだったのでしょうか。本書ではこうした合戦のリアルに迫ります。

白髪を染めるのをやめてみた。庭の掃除もほどほどに。大谷翔平君や藤井聰太君にときめく一年を重ねるのも悪くない。人間も生きるものだから、自然の摂理に素直に暮らしてみよう。ただ気掛かりなのは、環境、感染症、戦争、成長一辺倒の風潮。そこで、老い方上手な諸先輩(フーテンの寅さんから、アフガニスタンに尽くした中村哲医師まで)に学び、次世代につなぐ「命のバトン」を考えたい。生命誌のレジェンドが綴る、晩年のための人生哲学。

何かとネガティブな世相の昨今だが、実は日本は「隠れ幸福大国」なのだ! ただ、バラ色老後のためには足りないのは「考え方」と「行動癖」。この二つを身に付けるための最良テキストが、哲人ラツセルの「幸福論」である。同書を座右の書とする齋藤氏が、現代日本の文脈(対人関係、仕事、趣味、読書の効用、SNSやデジタル機器との付き合い方等々)にわたりやすく読み替えるながら、定年後の不安感をポジティブ転換するコツを伝授する。

キヤバクラやアダルトビデオなど、夜に深く迷い込んで生きていた頃、闇に落ちきることなくこの世界に繋ぎ止めてくれたのは、付箋を貼った本に刻まれた言葉だった。母親が読んでもくれた絵本の記憶、多感な中高生の頃に出会った本、大学生からオトナになる頃に手に取った本など、自らを形作った20冊について綴る。アリス、サガソ、鈴木いつみ、岡崎京子、山田詠美、橋本治……新たに、または改めて、本と出会える読書エッセイ。

孤独感や孤立とどう向き合るべきか? どうすれば克服できるのか? 老いや死への恐れ、名刺と一緒につまらない見栄は捨てよう! 60歳は物語でいえば終盤、よいよ仕上げの時、始まりです。でも、本当に楽しいのはこれから。この機会に、「常識」という棚にしまったものを、一度おろして吟味してみませんか。「持ち物」「友人」「お金」「家族」……身辺整理をしたその先に、これから的人生に必要なものが見えてくるはず。第一線で活躍し続ける

820円
150759-0

820円
150758-7

860円
150757-0

860円
150756-3

860円
150754-9

840円
150761-7

840円
150763-1

860円
150762-4

L764 子どもを壊す部活トレー

—「一流トレーナー」が教える

本当に効く練習方法

中野ジエームズ修一著

L765 生き物が老いるということ

—死と長寿の進化論

稻垣栄洋著

L766 吉村昭の人生作法

—仕事の流儀から最期の選択まで

谷口桂子著

L767 わいせつ教員の闇

—教育現場で何が起きているのか

読売新聞取材班著

L768 世界の「巨匠」の失敗に学べ！組織で生き延びる45の秘策

—歴史の転換期をめぐって

池上 彰+佐藤 優著

L769 理想の国へ

—歴史の転換期をめぐつて

大澤真幸+平野啓一郎著

L770 教育の未来

—変革の世紀を生き抜くために

安西祐一郎著

L771 カラー版 へんてこな生き物

—世界のふしぎを巡る旅

L772 あ
—教科書が教えない日本語

山口謙司著

L773 歩きながら考える

ヤマザキマリ著

「あ」「ま」といったマンガやネットに溢れる「ありえない日本語」。現代は発音と表記の間にズレが生じており、今日もどこかで前衛的な表現が生まれている。それは「五十音図」が誕生した平安時代ながらの状況であり、一〇〇〇年に一度の転換期なのかもしれない。本書は、古代の万葉仮名から江戸「明治の文学、現代のマンガ」にいたるまで、史実にもとづいて日本語の進化の謎に迫る。学校が教えてくれない日本語の教室へようこそ！

パンデミック下、日本に長期滞在することになった「旅する漫画家」ヤマザキマリ。思いがけなく移動の自由を奪われた日々の中で思索を重ね、様々な気づきや発見があった。「日本らしさ」とは何か？倫理の異なる集団同士の争いを回避するためには？そして私たちは、この先行き不透明な世界をどう生きていけば良いのか？自分の頭で考えるための知恵とユーモアがつまつた1冊。たちどまつたままではいられない。新たな歩みを始めよう！

900円
150773-0

900円
150772-3

960円
150768-6

920円
150769-9

フィジカルトレーナーとして青学駅伝チームを優勝に導いた立役者の一人である著者が、日本の学生たちに伝えた本当に効果のある練習方法と勝つためのトレーニングやケアの仕方。「全員で同じ練習をこなすのは無理がある」「アキレス腱のはしの準備体操には意味が無い」「負けた試合を振り返るのは逆効果」など、目から鱗の情報も満載。今まさに部活動に勤しんでいる若者たちはもちろん、親や家族、コーチ、教育関係者にも役立つ一冊。

「戦艦武蔵」「破獄」などの作品で知られる作家・吉村昭は、公私ともに独自のスタイルを貫いて実りに目をむけず、いつまでも青春としているようとするのか。実は老いは生物が進化の歴史の中で磨いてきた戦略なのだ。次世代へと命をつなぎながら、私たちの体は老いていくのである。人類はけつして強い生物ではないが、助け合い、そして年寄りの知恵を活かすことによって「長生き」を手に入れたのだ。老化という最強戦略の秘密に迫る。

イネにとつて老いはまさに米を実らせる、もつとも輝きを持つステージである。人間はどうして実りに目をむけず、いつまでも青春としているようとするのか。実は老いは生物が進化の歴史の中で磨いてきた戦略なのだ。次世代へと命をつなぎながら、私たちの体は老いていくのである。人類はけつして強い生物ではないが、助け合い、そして年寄りの知恵を活かすことによって「長生き」を手に入れたのだ。老化という最強戦略の秘密に迫る。

860円
150764-8

840円
150766-2

820円
150765-5

L774 オックスフォード大教授が問う
「見えないものを見る」
思考停止社会ニッポン
—曖昧化する危機言説

L775 「見えないものを見る」
—具体的な谷から脱出

苅谷剛彦 著

日英を往復する著者は、コロナ禍とワクライナ情勢に対する日本の反応に危機感を覚えた。「鎮国」「自肅」「平和ボケ」といったキーワードで「わかつたつもり」に陥っているからだ。従来の日本文化論的思考では、「空気」や「同調圧力」といった言葉で説明・納得し、思考停止してしまう。そのため議論が中途半端に終わり、素朴な一項対立に終始しがちとなる。まずは、私たちの「思考の習性（クセ）」を知ろう。日本の宿年の課題を徹底検証。

L776 調べて、伝えて、近づいて
—思ひを届けるレッスン

細谷 功 著

L777 増補版 笑つて生きる
—寂聴流悔いのない人生のコツ
—在宅医療の理想と現実

増田明美 著

VUCAと言われる不確実で先の見えない時代を生き残るには、「見えないもの」をいかに見えるようにするかが鍵となる。本書では、著者が思考力を鍛えるために用いる「具体と抽象」のテーマに当てはめながら、この「見えないもの」を見えるようにする考え方を提供する。

読み進めることで視野が広がり、日々のコミュニケーションや仕事の計画等に関する悩みを解消するとともに、未来に向けて将来像を描くためのツールになる1冊。

L778 実録・家で死ぬ

—古典で知る驚きの性

瀬戸内寂聴 著

「自分を変える革命は何歳でも起こせる」「この世に一人の自分を、自分が認めてあげなければ……」作家として、僧侶として、年齢を重ね、老いを受け入れ、周囲との人間関係や、家族のかたちも変わっていくなかで、私たちには、その言葉に心のよりどころを求めます。私たちの気持ちに寄り添い、一步を踏み出す勇気を与えてくれる寂聴さんの言葉を1冊にぎゅっと詰め込みました。

L779 ジエンダーレスの日本史
—古典で知る驚きの性

篠井恵里子 著

肉体の性別とは違う性認識を持つことが尊重されるようになってきた。先進的に見えるが、じつは日本の古典作品には男女の境があいまいな話は数多く存在する。神話から平安文学、軍記もの、江戸川柳まで古典を通して伝統的な男らしさ・女らしさのウソを驚きをもつて解き明かす。昔の日本の「性意識」がいかにあいまいであったか、それゆえに文芸が発展したかも見えてくる。著者による「ジエンダーレス年表」は弥生時代から現代までを網羅。

L780 人生は、日々の当たり前の積み重ね

大塚ひかり 著

「今の職場、『ゆるい』んです」「ここにいても、成長できるのか」。そんな不安をこぼす若者たちがいる。2010年代後半から進んだ職場運営法改革により、日本企業の労働環境は「働きやすい」ものへと変わりつつある。しかし一方で、若手社員の離職率はむしろ上がっており、当の若者たちからは、「不安の声が聞かれるようになった」。本書では、企業や日本社会が抱えるこの課題と解決策について、データと実例を示しながら解説する。

L781 ゆるい職場

—若者の不安の知られざる理由

古屋星斗 著

中学入試超良問で学ぶ
ニッポンの課題
おおたとしまさ 編著

蟹江憲史+山本 祐 監修

L782 世界のマネージョーケ集
—笑つて学ぶお金とのつきあい方

860円
150783-2

900円
150781-5

累計100万部突破の人気シリーズがマネーをテーマに新登場。風刺・ユーモアを通してお金についての知識や教養を深めることができる「本邦初?」の一冊。そもそもお金とは、SDGsにも通じており、大人の学びにとっても格好の教科書となる。掲載校は麻布、田園調布、武蔵、頌栄、浅野、鷗友、駒場東邦、東京純心、市川。圧倒的本気度の9問は、どもにとつてはペーパーテストでも、大人にとつては解決すべきリアルな課題だ。

早坂 隆 著

840円
150783-9

900円
150774-7
900円
150774-7
900円
150774-7

地図記号のひみつ

今尾恵介 著

学校で習つて、誰もが親しんでいる地図記号。だが、実はまだ知らないことも多い。日本で初めての地図記号「温泉」、ナチス・ドイツを連想させるとして「卍」からの変更が検討された「寺院」、高齢化を反映して小中学生から公募した「老人ホーム」……。地図記号からは、明治から令和に至る日本社会の変貌が読み取れるのだ。中学生の頃から地形図に親しんできた地図研究家が、地図記号の奥深い世界を紹介する。

L785 防衛省に告ぐ

元自衛隊現場トップが明かす
防衛行政の失態

香田洋二 著

2020年、イージアシヨアをめぐる一連の騒ぎで、防衛省が抱える構造的な欠陥が露呈した。行き当たりばったりの説明。現場を預かる自衛隊との連携の薄さ。危機感と責任感の不足。中国・ロシア・北朝鮮……。日本は今、未曾有の危機の中にいる。ついに国防費はGDP比2%に拡充されるが、肝心の防衛行政がこれだけユルいんじや、この国は守れない。元・海上自衛隊自衛艦隊司令官（海将）が使命感と危機感で立ち上がった。

L786 70歳兼流 「老春時代」を愉快に生きる人生

内田樹+ウスピ・サコ著

人生100年時代、定年後の30年はあまり長い。でも長い時間だからこそ、新しい自分に出会うことも可能です。家族、仕事、人間関係……。自分や周囲の変化を恐れず、目の前の課題に挑戦する勇気があれば、「老後」は「第二の青春」になるはず。第一線で活躍し続ける漫画家が「愉快で快適なセカンドステージを築くための秘訣」をつづる。「弘兼流『老春時代』」を増補、改題した決定版。ベストセラー第1弾。

L787 君たちのための自由論 —ゲリラ的な学びのすすめ

藤井 薫著
内田樹+ウスピ・サコ著
弘兼憲史著

かたや哲学者であり武道家、かたやアフリカ・マリ出身の元大学学長。2人の個性派教育者による「自由すぎるアドバイスとメッセージ」。曰く、「管理から逃れて創造的であるためにもつと『だらだら』しよう」「『ゲリラ的』な仕掛けで、異質なものの同士の化学反応を生み出そう」「将来は『なんとなく』決めるべし」「世の中に『なんでやねん!』とツッコミを入れよ」。若い人たちが「大化け」するための秘訣を、コロナ禍の教育現場から発信。

L789 「将軍」の日本史

本郷和人著

幕府のトップとして武士を率いる「将軍」。源頼朝や徳川家康のように權威・權力を兼ね備え、強力なリーダーシップを發揮した大物だけではない。この国にはくじ引きで選ばれた将軍、子どもが50人いた「オットセイ将軍」、何もししなかつたひ弱な将軍もいたのだ。そもそも将军は誰が決めるのか、何をするのか。おなじみ本郷教授が、時代ごとに区分けされがちなアカデミズムの壁を乗り越えて日本の権力構造の謎に挑む。オドロキの将軍論。

L790 シニーア右翼 —日本の中高年はなぜ右傾化するのか

古谷経衡著

久しぶりに会った親が右傾的ネット動画の視聴者になり、保守系論壇誌の購読者になつていた。中にはヘイトが昂じて逮捕・裁判に至る事例も——。こんな事例があなたの隣りでも!? 50歳以上の「シニーア右翼」の乱心は決して一過性の社会現象ではない。かつて右翼と「同じ釜の飯を食っていた」鬼才が内側から見た実像を解き明かしながら、日本の戦前・戦後史、そして近年のネット技術の発展が生みだしたこの「鬼つ子」の来歴と病根に迫る。

860円
150789-1

860円
150786-0

860円
150785-3

860円
150784-6

L164 世界反米ジョーク集	早坂 隆	L055 老化時計	白澤卓二
L128 日本語力と英語力	斎藤 光史	L056 霞が関残酷物語	西村 健
L124 世界の紛争地ジョーク集	早坂 隆	L073 やさしい文章術	樋口裕一
L152 崖っぷち弱小大学物語	杉山 幸丸	L088 なぜ教育論争は 不毛なのか	苅谷剛彦
L233 すべては脳からはじまる	茂木 健一郎	L120 英語を子どもに教えるな	市川 力
L226 論文捏造	村 松 秀	L202 世界の日本人ジョーク集	早坂 隆
L321 大不況には本を読む	橋本 治	L171 オレ様化する子どもたち 謙訪哲二	L177 歴代海軍大将全覽
L309 日本人ジョーク集	早坂 隆	L195 大学の話をしましようか	半藤一利 + 横山恵一 + 秦郁彦 + 戸高一成
L307 歴代陸軍大将全覽	大正篇	L200 脳の中の人生	森 博嗣
半藤一利 + 横山恵一 + 秦郁彦 + 原剛		L244 となりのクレーマー	関根眞一
L303 歴代陸軍大将全覽	明治篇	L262 座右の山本夏彦	嶋中 労
半藤一利 + 横山恵一 + 秦郁彦 + 原剛		L264 それでも脳はたくらむ	茂木健一郎
L294 P.T.A再活用論	川端裕人	L300 脳はもつと あそんでくれる	茂木健一郎
五十嵐太郎			

中公新書ラクレ 電子書籍版

◆ 二〇二三年三月配信分まで掲載しています。
「中公新書ラクレ 電子書籍版」は主要電子書店にてお求めください。

L552 実践としての ブログラミング講座	L494 教えて！校長先生 伸びばす「コツ」思春期男子を 開拓する	L498 腰・肩・ひざは 「ねじって」治す	L499 竹内和雄	L507 柳沢幸雄
L549 新・地政学	L548 だからデザイナーは 炎上する	L537 泌尿器科医が教える オトコの「性」活習慣病	L500 修羅場の極意	L509 徹底検証 朝日「慰安婦」報道
清水 亮	佐山内 昌之	L540 なぜ凄いのか 23区格差	L501 ニッポンの経済学部	L508 福井県の学力・体力が トップクラスの秘密
L570 不動産屋にだまされるな	L569 99.9%の 知らない いらない 人間関係は	L538 腰・肩・ひざは 「ふたりで」治す	L502 国際機関で見た 「世界のエリート」の正体	L507 ベスト珍書 志水宏吉
山田寛英	藤本貴之	L541 残念なメダリスト	L503 「プロ教師」の流儀	L511 精神科のヒミツ
L547 男子御三家	L543 教えて！校長先生 なぜ共学トップになれたのか	L542 フランス産エリートは なぜ凄いのか	L505 美しすぎる数学 リクルートという幻想	L512 あるる領収書を経費で落とす! 金持ち社長に学ぶ禁断の蓄財術
佐藤 優	佐藤 優	L539 小堀善友	L506 常見陽平	L513 肩書き捨てたら 地獄だつた
L566 統計学が日本を救う	L565 日本をめざす	L543 渋谷教育学園は なぜ共学トップになれたのか	L507 赤阪清隆	L518 日本一「ふさけた」会社の ギリギリセーフな仕事術
高橋正尚	中島 恵	L544 税務署員がこつそり 教えるお金の裏ワザ	L508 橘木俊詔	L519 「おバカ大陸」 オーストラリア
L584 学校改革請負人	L583 ネコがメディアを 支配する	L545 会議を制する心理学	L509 池田利道	L520 唐揚げのすべて
安井元康	西内 啓	L546 岡本浩一	L550 田村哲夫	L521 いつも出遅れる人の 株講座
高橋正尚	奥村倫弘	L562 酒場天国イギリス	L559 高速道路ファン手帳	L522 同性にモテる技術
高橋正尚	奥村倫弘	L567 男子御三家	L558 都会の里海 東京湾	L523 なぜ中国人は日本の トイレの虜になるのか？ 中島 恵
高橋正尚	奥村倫弘	L568 小坂剛	L554 橋木俊詔	L524 ほんとうの日蓮 島田裕巳
高橋正尚	奥村倫弘	L569 中島恵	L555 大村大次郎	L525 アキバ・メイド 中川嶺子
高橋正尚	奥村倫弘	L570 西内啓	L556 木村尚	L526 ケンカの流儀 佐藤 優
高橋正尚	奥村倫弘	L571 今 栄二	L557 三田佐代子	L527 御社の寿命 帝国データバンク情報部+中村宏之
高橋正尚	奥村倫弘	L572 河野博子	L558 内林真理子	L528 他人の不幸を願う人 片田珠美
高橋正尚	奥村倫弘	L573 佐藤優	L559 大村大次郎	L529 サッカーは監督で決まる 清水英斗
高橋正尚	奥村倫弘	L574 岩田光央	L560 岸見一郎	L530 戦場の名言集 早坂 隆
高橋正尚	奥村倫弘	L575 馬田隆明	L561 佐瀬剛弘	L531 教師はサービス業です 関根眞一
高橋正尚	奥村倫弘	L576 塙崎均	L562 家入一真	L532 甲子園「観戦力」を ツーレツに高める本 小野塙康之
高橋正尚	奥村倫弘	L577 佐藤優	L563 佐瀬剛弘	L533 本をサクサク読む技術 齋藤 孝
高橋正尚	奥村倫弘	L578 馬田隆明	L564 佐瀬剛弘	L534 採用・人事のからくり 岸 宣仁
高橋正尚	奥村倫弘	L579 岩田光央	L565 佐瀬剛弘	L535 キャラリア官僚 採用・人事のからくり 岸 宣仁
高橋正尚	奥村倫弘	L580 馬田隆明	L566 佐瀬剛弘	L536 里地里山エネルギー ヤバい資産形成術 大村大次郎
高橋正尚	奥村倫弘	L581 塙崎均	L567 佐瀬剛弘	L537 嫉妬と自己愛 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L582 東京いい道、しぶい道 カラーブ	L568 佐瀬剛弘	L538 逆説の スター・アップ思考 大村大次郎
高橋正尚	奥村倫弘	L583 高橋正尚	L569 佐瀬剛弘	L539 近大学長 常識破りの大学解体新書 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L584 学校改革請負人	L570 佐瀬剛弘	L540 洋食ウキウキ 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L585 高橋正尚	L571 佐瀬剛弘	L541 里地里山エネルギー ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L586 高橋正尚	L572 佐瀬剛弘	L542 嫉妬と自己愛 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L587 高橋正尚	L573 佐瀬剛弘	L543 逆説の スター・アップ思考 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L588 高橋正尚	L574 佐瀬剛弘	L544 近大学長 常識破りの大学解体新書 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L589 高橋正尚	L575 佐瀬剛弘	L545 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L590 高橋正尚	L576 佐瀬剛弘	L546 逆説の スター・アップ思考 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L591 高橋正尚	L577 佐瀬剛弘	L547 近大学長 常識破りの大学解体新書 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L592 高橋正尚	L578 佐瀬剛弘	L548 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L593 高橋正尚	L579 佐瀬剛弘	L549 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L594 高橋正尚	L580 佐瀬剛弘	L550 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L595 高橋正尚	L581 佐瀬剛弘	L551 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L596 高橋正尚	L582 佐瀬剛弘	L552 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L597 高橋正尚	L583 佐瀬剛弘	L553 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L598 高橋正尚	L584 佐瀬剛弘	L554 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L599 高橋正尚	L585 佐瀬剛弘	L555 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L600 高橋正尚	L586 佐瀬剛弘	L556 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L601 高橋正尚	L587 佐瀬剛弘	L557 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L602 高橋正尚	L588 佐瀬剛弘	L558 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L603 高橋正尚	L589 佐瀬剛弘	L559 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L604 高橋正尚	L590 佐瀬剛弘	L560 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L605 高橋正尚	L591 佐瀬剛弘	L561 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L606 高橋正尚	L592 佐瀬剛弘	L562 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L607 高橋正尚	L593 佐瀬剛弘	L563 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L608 高橋正尚	L594 佐瀬剛弘	L564 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L609 高橋正尚	L595 佐瀬剛弘	L565 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L610 高橋正尚	L596 佐瀬剛弘	L566 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L611 高橋正尚	L597 佐瀬剛弘	L567 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L612 高橋正尚	L598 佐瀬剛弘	L568 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L613 高橋正尚	L599 佐瀬剛弘	L569 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L614 高橋正尚	L600 佐瀬剛弘	L570 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L615 高橋正尚	L601 佐瀬剛弘	L571 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L616 高橋正尚	L602 佐瀬剛弘	L572 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L617 高橋正尚	L603 佐瀬剛弘	L573 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L618 高橋正尚	L604 佐瀬剛弘	L574 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L619 高橋正尚	L605 佐瀬剛弘	L575 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L620 高橋正尚	L606 佐瀬剛弘	L576 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L621 高橋正尚	L607 佐瀬剛弘	L577 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L622 高橋正尚	L608 佐瀬剛弘	L578 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L623 高橋正尚	L609 佐瀬剛弘	L579 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L624 高橋正尚	L610 佐瀬剛弘	L580 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L625 高橋正尚	L611 佐瀬剛弘	L581 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L626 高橋正尚	L612 佐瀬剛弘	L582 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L627 高橋正尚	L613 佐瀬剛弘	L583 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L628 高橋正尚	L614 佐瀬剛弘	L584 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L629 高橋正尚	L615 佐瀬剛弘	L585 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L630 高橋正尚	L616 佐瀬剛弘	L586 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L631 高橋正尚	L617 佐瀬剛弘	L587 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L632 高橋正尚	L618 佐瀬剛弘	L588 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L633 高橋正尚	L619 佐瀬剛弘	L589 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L634 高橋正尚	L620 佐瀬剛弘	L590 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L635 高橋正尚	L621 佐瀬剛弘	L591 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L636 高橋正尚	L622 佐瀬剛弘	L592 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L637 高橋正尚	L623 佐瀬剛弘	L593 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L638 高橋正尚	L624 佐瀬剛弘	L594 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L639 高橋正尚	L625 佐瀬剛弘	L595 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L640 高橋正尚	L626 佐瀬剛弘	L596 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L641 高橋正尚	L627 佐瀬剛弘	L597 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L642 高橋正尚	L628 佐瀬剛弘	L598 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L643 高橋正尚	L629 佐瀬剛弘	L599 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L644 高橋正尚	L630 佐瀬剛弘	L600 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L645 高橋正尚	L631 佐瀬剛弘	L601 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L646 高橋正尚	L632 佐瀬剛弘	L602 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L647 高橋正尚	L633 佐瀬剛弘	L603 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L648 高橋正尚	L634 佐瀬剛弘	L604 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L649 高橋正尚	L635 佐瀬剛弘	L605 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L650 高橋正尚	L636 佐瀬剛弘	L606 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L651 高橋正尚	L637 佐瀬剛弘	L607 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L652 高橋正尚	L638 佐瀬剛弘	L608 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L653 高橋正尚	L639 佐瀬剛弘	L609 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L654 高橋正尚	L640 佐瀬剛弘	L610 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L655 高橋正尚	L641 佐瀬剛弘	L611 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L656 高橋正尚	L642 佐瀬剛弘	L612 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L657 高橋正尚	L643 佐瀬剛弘	L613 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L658 高橋正尚	L644 佐瀬剛弘	L614 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L659 高橋正尚	L645 佐瀬剛弘	L615 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L660 高橋正尚	L646 佐瀬剛弘	L616 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L661 高橋正尚	L647 佐瀬剛弘	L617 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L662 高橋正尚	L648 佐瀬剛弘	L618 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L663 高橋正尚	L649 佐瀬剛弘	L619 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L664 高橋正尚	L650 佐瀬剛弘	L620 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L665 高橋正尚	L651 佐瀬剛弘	L621 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L666 高橋正尚	L652 佐瀬剛弘	L622 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L667 高橋正尚	L653 佐瀬剛弘	L623 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L668 高橋正尚	L654 佐瀬剛弘	L624 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L669 高橋正尚	L655 佐瀬剛弘	L625 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L670 高橋正尚	L656 佐瀬剛弘	L626 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L671 高橋正尚	L657 佐瀬剛弘	L627 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L672 高橋正尚	L658 佐瀬剛弘	L628 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L673 高橋正尚	L659 佐瀬剛弘	L629 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L674 高橋正尚	L660 佐瀬剛弘	L630 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L675 高橋正尚	L661 佐瀬剛弘	L631 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L676 高橋正尚	L662 佐瀬剛弘	L632 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L677 高橋正尚	L663 佐瀬剛弘	L633 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L678 高橋正尚	L664 佐瀬剛弘	L634 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L679 高橋正尚	L665 佐瀬剛弘	L635 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L680 高橋正尚	L666 佐瀬剛弘	L636 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L681 高橋正尚	L667 佐瀬剛弘	L637 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L682 高橋正尚	L668 佐瀬剛弘	L638 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L683 高橋正尚	L669 佐瀬剛弘	L639 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L684 高橋正尚	L670 佐瀬剛弘	L640 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L685 高橋正尚	L671 佐瀬剛弘	L641 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L686 高橋正尚	L672 佐瀬剛弘	L642 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L687 高橋正尚	L673 佐瀬剛弘	L643 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L688 高橋正尚	L674 佐瀬剛弘	L644 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L689 高橋正尚	L675 佐瀬剛弘	L645 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L690 高橋正尚	L676 佐瀬剛弘	L646 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L691 高橋正尚	L677 佐瀬剛弘	L647 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L692 高橋正尚	L678 佐瀬剛弘	L648 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L693 高橋正尚	L679 佐瀬剛弘	L649 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L694 高橋正尚	L680 佐瀬剛弘	L650 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L695 高橋正尚	L681 佐瀬剛弘	L651 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L696 高橋正尚	L682 佐瀬剛弘	L652 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L697 高橋正尚	L683 佐瀬剛弘	L653 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L698 高橋正尚	L684 佐瀬剛弘	L654 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L699 高橋正尚	L685 佐瀬剛弘	L655 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L700 高橋正尚	L686 佐瀬剛弘	L656 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L701 高橋正尚	L687 佐瀬剛弘	L657 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L702 高橋正尚	L688 佐瀬剛弘	L658 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L703 高橋正尚	L689 佐瀬剛弘	L659 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L704 高橋正尚	L690 佐瀬剛弘	L660 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L705 高橋正尚	L691 佐瀬剛弘	L661 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L706 高橋正尚	L692 佐瀬剛弘	L662 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L707 高橋正尚	L693 佐瀬剛弘	L663 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L708 高橋正尚	L694 佐瀬剛弘	L664 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L709 高橋正尚	L695 佐瀬剛弘	L665 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L710 高橋正尚	L696 佐瀬剛弘	L666 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L711 高橋正尚	L697 佐瀬剛弘	L667 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L712 高橋正尚	L698 佐瀬剛弘	L668 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L713 高橋正尚	L699 佐瀬剛弘	L669 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L714 高橋正尚	L700 佐瀬剛弘	L670 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L715 高橋正尚	L701 佐瀬剛弘	L671 ヤバい資産形成術 佐藤優
高橋正尚	奥村倫弘	L716 高橋正尚	L702 佐瀬剛弘	L672 ヤバい資産形成術 佐藤優</td

L585 孤独のすすめ	五木寛之
L586 アドラーをじっくり読む	岸見一郎
L587 オツクスフォードからの警鐘	苅谷剛彦
L588 【戦争論】	守屋淳
L589 平成のビジネス書	L608 ゴールをぶっ壊せ
L590 統計は暴走する	L609 ご先祖様、ただいま検索中！
L591 人生が輝く選択力	山田真哉
L592 L593 平成のビジネス書	佐々木彈
L594 統計は暴走する	L611 50歳からの人生術
L595 人生が輝く選択力	印南一路
L596 人生が輝く選択力	上野千鶴子
L597 人生が輝く選択力	雨宮処凜
L598 世代の痛み	L612 奇跡の四国遍路
L599 世代の痛み	L613 英國公文書の世界史
L600 ひとまず、信じない	L614 「保守」のゆくえ
L601 子どもの病気	L615 「保守」のゆくえ
L602 常識のウソ	佐伯啓思
L603 「脱」戦後のすすめ	松永正訓
L604 「脱」戦後のすすめ	押井守
L605 日本人ジョーク集	早坂隆
L606 日本人ジョーク集	L616 読む力
L607 独裁の宴	L617 スイーツ放浪記
L608 ゴールをぶっ壊せ	L618 「心」はあるか
L609 ご先祖様、ただいま検索中！	L619 「心」はあるか
L610 50歳からの人生術	L620 〔讀売新聞朝刊一面コラム〕 〔竹内政明の傑作選〕
L611 50歳からの人生術	佐藤岡正優剛
L612 奇跡の四国遍路	佐伯啓思
L613 英國公文書の世界史	小林恭子
L614 「保守」のゆくえ	黛まだか
L615 「保守」のゆくえ	佐伯啓思
L616 読む力	佐藤岡正優剛
L617 スイーツ放浪記	今 杓二
L618 「心」はあるか	楠瀬良
L619 「心」はあるか	竹内政明
L620 〔讀売新聞朝刊一面コラム〕 〔竹内政明の傑作選〕	L621 イスラム10のなぞ
L621 イスラム10のなぞ	宮田律
L622 【価格】を疑え	吉川尚宏
L623 中国の世界遺産を旅する	瀬戸内寂聴+ドナルド・キーン
L624 日本の美德	榎原英資+竹中平蔵+田原總一朗
L625 A-1と日本企業	L626 帝国データバンク+中村宏之
L626 素敵な石ころの見つけ方	小養老孟司
L627 歳を取るのも悪くない	大島慶子
L628 地元の力を生かす「 ² 当地企業」	河合薰
L629 面倒くさい女たち	本郷和人
L630 上皇の日本史	L631 秘湯マニアの温泉療法専門医が教える 心と体に効く温泉
L631 秘湯マニアの温泉療法専門医が教える 心と体に効く温泉	佐々木政一
L632 ビンボーでも 楽しい定年後	L633 東京懐かし写真帖
L633 東京懐かし写真帖	秋山武雄 読売新聞都内版編集室編
L634 秋山武雄 読売新聞都内版編集室編	L634 秋山武雄 読売新聞都内版編集室編
L635 大人のための儒教塾	L646 安彦良和の戦争と平和
L636 不動産投資に だまされるな	杉田俊介
L637 新装版 役人道入門	L647 日本人が勘違いしているカタカナ英語1-20
L638 中学受験「必笑法」	山田寛英
L639 米中衝突	L648 日本人が勘違いしているカタカナ英語1-20
L640 「オウム」は再び現れる	久保田勇夫
L641 医療費で損しない 46の方法	佐藤龍一
L642 江戸暮らしの内側	佐藤裕巳
L643 街間格差	原 昌平
L644 負けたくなかった	森田健司
L645 究極のマネジメント	牧野知弘
L646 西田具志堅用高	西田具志堅用高
L647 番記者が見た新天皇の素顔	西田具志堅用高
L648 井上茂男	西田具志堅用高
L649 もう一度花咲かせよう	西田具志堅用高
L650 教育激変	西田具志堅用高
L651 続・孤独のすすめ	西田具志堅用高
L652 ドキュメント誘導工作	西田具志堅用高
L653 獨学のススメ	西田具志堅用高
L654 もう一度花咲かせよう	西田具志堅用高
L655 西田若宮正子	西田若宮正子
L656 ハラスメントの境界線	西田若宮正子
L657 西田若宮正子	西田若宮正子
L658 吉川尚宏	西田若宮正子
L659 吉川尚宏	西田若宮正子
L660 決断	西田若宮正子
L661 名門高校はここが違う	西田若宮正子
L662 ドキュメント「令和」制定	西田若宮正子
L663 赤ちゃんは ことばをどう学ぶのか	西田若宮正子
L664 「地方国立大学」の時代	西田若宮正子
L665 精神科医が教える 親のトリセツ	西田若宮正子
L666 立て直す力	西田若宮正子
L667 A-1倫理	西田若宮正子
L668 惱めるローマ法王	西田若宮正子
L669 フランスシスコの改革	西田若宮正子
L670 神社で拍手を打つな！	西田若宮正子
L671 見えない戦争	西田若宮正子
L672 見えない戦争	西田若宮正子
L673 見えない戦争	西田若宮正子
L674 見えない戦争	西田若宮正子
L675 見えない戦争	西田若宮正子
L676 見えない戦争	西田若宮正子
L677 見えない戦争	西田若宮正子
L678 見えない戦争	西田若宮正子
L679 見えない戦争	西田若宮正子
L680 見えない戦争	西田若宮正子
L681 見えない戦争	西田若宮正子
L682 見えない戦争	西田若宮正子
L683 見えない戦争	西田若宮正子
L684 見えない戦争	西田若宮正子
L685 見えない戦争	西田若宮正子
L686 見えない戦争	西田若宮正子
L687 見えない戦争	西田若宮正子
L688 見えない戦争	西田若宮正子
L689 見えない戦争	西田若宮正子
L690 見えない戦争	西田若宮正子
L691 見えない戦争	西田若宮正子
L692 見えない戦争	西田若宮正子
L693 見えない戦争	西田若宮正子
L694 見えない戦争	西田若宮正子
L695 見えない戦争	西田若宮正子
L696 見えない戦争	西田若宮正子
L697 見えない戦争	西田若宮正子
L698 見えない戦争	西田若宮正子
L699 見えない戦争	西田若宮正子
L700 見えない戦争	西田若宮正子
L701 見えない戦争	西田若宮正子
L702 見えない戦争	西田若宮正子
L703 見えない戦争	西田若宮正子
L704 見えない戦争	西田若宮正子
L705 見えない戦争	西田若宮正子
L706 見えない戦争	西田若宮正子
L707 見えない戦争	西田若宮正子
L708 見えない戦争	西田若宮正子
L709 見えない戦争	西田若宮正子
L710 見えない戦争	西田若宮正子
L711 見えない戦争	西田若宮正子
L712 見えない戦争	西田若宮正子
L713 見えない戦争	西田若宮正子
L714 見えない戦争	西田若宮正子
L715 見えない戦争	西田若宮正子
L716 見えない戦争	西田若宮正子
L717 見えない戦争	西田若宮正子
L718 見えない戦争	西田若宮正子
L719 見えない戦争	西田若宮正子
L720 見えない戦争	西田若宮正子
L721 見えない戦争	西田若宮正子
L722 見えない戦争	西田若宮正子
L723 見えない戦争	西田若宮正子
L724 見えない戦争	西田若宮正子
L725 見えない戦争	西田若宮正子
L726 見えない戦争	西田若宮正子
L727 見えない戦争	西田若宮正子
L728 見えない戦争	西田若宮正子
L729 見えない戦争	西田若宮正子
L730 見えない戦争	西田若宮正子
L731 見えない戦争	西田若宮正子
L732 見えない戦争	西田若宮正子
L733 見えない戦争	西田若宮正子
L734 見えない戦争	西田若宮正子
L735 見えない戦争	西田若宮正子
L736 見えない戦争	西田若宮正子
L737 見えない戦争	西田若宮正子
L738 見えない戦争	西田若宮正子
L739 見えない戦争	西田若宮正子
L740 見えない戦争	西田若宮正子
L741 見えない戦争	西田若宮正子
L742 見えない戦争	西田若宮正子
L743 見えない戦争	西田若宮正子
L744 見えない戦争	西田若宮正子
L745 見えない戦争	西田若宮正子
L746 見えない戦争	西田若宮正子
L747 見えない戦争	西田若宮正子
L748 見えない戦争	西田若宮正子
L749 見えない戦争	西田若宮正子
L750 見えない戦争	西田若宮正子
L751 見えない戦争	西田若宮正子
L752 見えない戦争	西田若宮正子
L753 見えない戦争	西田若宮正子
L754 見えない戦争	西田若宮正子
L755 見えない戦争	西田若宮正子
L756 見えない戦争	西田若宮正子
L757 見えない戦争	西田若宮正子
L758 見えない戦争	西田若宮正子
L759 見えない戦争	西田若宮正子
L760 見えない戦争	西田若宮正子
L761 見えない戦争	西田若宮正子
L762 見えない戦争	西田若宮正子
L763 見えない戦争	西田若宮正子
L764 見えない戦争	西田若宮正子
L765 見えない戦争	西田若宮正子
L766 見えない戦争	西田若宮正子
L767 見えない戦争	西田若宮正子
L768 見えない戦争	西田若宮正子
L769 見えない戦争	西田若宮正子
L770 見えない戦争	西田若宮正子
L771 見えない戦争	西田若宮正子
L772 見えない戦争	西田若宮正子
L773 見えない戦争	西田若宮正子
L774 見えない戦争	西田若宮正子
L775 見えない戦争	西田若宮正子
L776 見えない戦争	西田若宮正子
L777 見えない戦争	西田若宮正子
L778 見えない戦争	西田若宮正子
L779 見えない戦争	西田若宮正子
L780 見えない戦争	西田若宮正子
L781 見えない戦争	西田若宮正子
L782 見えない戦争	西田若宮正子
L783 見えない戦争	西田若宮正子
L784 見えない戦争	西田若宮正子
L785 見えない戦争	西田若宮正子
L786 見えない戦争	西田若宮正子
L787 見えない戦争	西田若宮正子
L788 見えない戦争	西田若宮正子
L789 見えない戦争	西田若宮正子
L790 見えない戦争	西田若宮正子
L791 見えない戦争	西田若宮正子
L792 見えない戦争	西田若宮正子
L793 見えない戦争	西田若宮正子
L794 見えない戦争	西田若宮正子
L795 見えない戦争	西田若宮正子
L796 見えない戦争	西田若宮正子
L797 見えない戦争	西田若宮正子
L798 見えない戦争	西田若宮正子
L799 見えない戦争	西田若宮正子
L800 見えない戦争	西田若宮正子
L801 見えない戦争	西田若宮正子
L802 見えない戦争	西田若宮正子
L803 見えない戦争	西田若宮正子
L804 見えない戦争	西田若宮正子
L805 見えない戦争	西田若宮正子
L806 見えない戦争	西田若宮正子
L807 見えない戦争	西田若宮正子
L808 見えない戦争	西田若宮正子
L809 見えない戦争	西田若宮正子
L810 見えない戦争	西田若宮正子
L811 見えない戦争	西田若宮正子
L812 見えない戦争	西田若宮正子
L813 見えない戦争	西田若宮正子
L814 見えない戦争	西田若宮正子
L815 見えない戦争	西田若宮正子
L816 見えない戦争	西田若宮正子
L817 見えない戦争	西田若宮正子
L818 見えない戦争	西田若宮正子
L819 見えない戦争	西田若宮正子
L820 見えない戦争	西田若宮正子
L821 見えない戦争	西田若宮正子
L822 見えない戦争	西田若宮正子
L823 見えない戦争	西田若宮正子
L824 見えない戦争	西田若宮正子
L825 見えない戦争	西田若宮正子
L826 見えない戦争	西田若宮正子
L827 見えない戦争	西田若宮正子
L828 見えない戦争	西田若宮正子
L829 見えない戦争	西田若宮正子
L830 見えない戦争	西田若宮正子
L831 見えない戦争	西田若宮正子
L832 見えない戦争	西田若宮正子
L833 見えない戦争	西田若宮正子
L834 見えない戦争	西田若宮正子
L835 見えない戦争	西田若宮正子
L836 見えない戦争	西田若宮正子
L837 見えない戦争	西田若宮正子
L838 見えない戦争	西田若宮正子
L839 見えない戦争	西田若宮正子
L840 見えない戦争	西田若宮正子
L841 見えない戦争	西田若宮正子
L842 見えない戦争	西田若宮正子
L843 見えない戦争	西田若宮正子
L844 見えない戦争	西田若宮正子
L845 見えない戦争	西田若宮正子
L846 見えない戦争	西田若宮正子
L847 見えない戦争	西田若宮正子
L848 見えない戦争	西田若宮正子
L849 見えない戦争	西田若宮正子
L850 見えない戦争	西田若宮正子
L851 見えない戦争	西田若宮正子
L852 見えない戦争	西田若宮正子
L853 見えない戦争	西田若宮正子
L854 見えない戦争	西田若宮正子
L855 見えない戦争	西田若宮正子
L856 見えない戦争	西田若宮正子
L857 見えない戦争	西田若宮正子
L858 見えない戦争	西田若宮正子
L859 見えない戦争	西田若宮正子
L860 見えない戦争	西田若宮正子
L861 見えない戦争	西田若宮正子
L862 見えない戦争	西田若宮正子
L863 見えない戦争	西田若宮正子
L864 見えない戦争	西田若宮正子
L865 見えない戦争	西田若宮正子
L866 見えない戦争	西田若宮正子
L867 見えない戦争	西田若宮正子
L868 見えない戦争	西田若宮正子
L869 見えない戦争	西田若宮正子
L870 見えない戦争	西田若宮正子
L871 見えない戦争	西田若宮正子
L872 見えない戦争	西田若宮正子
L873 見えない戦争	西田若宮正子
L874 見えない戦争	西田若宮正子
L875 見えない戦争	西田若宮正子
L876 見えない戦争	西田若宮正子
L877 見えない戦争	西田若宮正子
L878 見えない戦争	西田若宮正子
L879 見えない戦争	西田若宮正子
L880 見えない戦争	西田若宮正子
L881 見えない戦争	西田若宮正子
L882 見えない戦争	西田若宮正子
L883 見えない戦争	西田若宮正子
L884 見えない戦争	西田若宮正子
L885 見えない戦争	西田若宮正子
L886 見えない戦争	西田若宮正子
L887 見えない戦争	西田若宮正子
L888 見えない戦争	西田若宮正子
L889 見えない戦争	西田若宮正子
L890 見えない戦争	西田若宮正子
L891 見えない戦争	西田若宮正子
L892 見えない戦争	西田若宮正子
L893 見えない戦争	西田若宮正子
L894 見えない戦争	西田若宮正子
L895 見えない戦争	西田若宮正子
L896 見えない戦争	西田若宮正子
L897 見えない戦争	西田若宮正子
L898 見えない戦争	西田若宮正子
L899 見えない戦争	西田若宮正子
L900 見えない戦争	西田若宮正子
L901 見えない戦争	西田若宮正子
L902 見えない戦争	西田若宮正子
L903 見えない戦争	西田若宮正子
L904 見えない戦争	西田若宮正子
L905 見えない戦争	西田若宮正子
L906 見えない戦争	西田若宮正子
L907 見えない戦争	西田若宮正子
L908 見えない戦争	西田若宮正子
L909 見えない戦争	西田若宮正子
L910 見えない戦争	西田若宮正子
L911 見えない戦争	西田若宮正子
L912 見えない戦争	西田若宮正子
L913 見えない戦争	西田若宮正子
L914 見えない戦争	西田若宮正子
L915 見えない戦争	西田若宮正子
L916 見えない戦争	西田若宮正子
L917 見えない戦争	西田若宮正子
L918 見えない戦争	西田若宮正子
L919 見えない戦争	西田若宮正子
L920 見えない戦争	西田若宮正子
L921 見えない戦争	西田若宮正子
L922 見えない戦争	西田若宮正子
L923 見えない戦争	西田若宮正子
L924 見えない戦争	西田若宮正子
L925 見えない戦争	西田若宮正子
L926 見えない戦争	西田若宮正子
L927 見えない戦争	西田若宮正子
L928 見えない戦争	西田若宮正子
L929 見えない戦争	西田若宮正子
L930 見えない戦争	西田若宮正子
L931 見えない戦争	西田若宮正子
L932 見えない戦争	西田若宮正子
L933 見えない戦争	西田若宮正子
L934 見えない戦争	西田若宮正子
L935 見えない戦争	西田若宮正子
L936 見えない戦争	西田若宮正子
L937 見えない戦争	西田若宮正子
L938 見えない戦争	西田若宮正子
L939 見えない戦争	西田若宮正子
L940 見えない戦争	西田若宮正子
L941 見えない戦争	西田若宮正子
L942 見えない戦争	西田若宮正子
L943 見えない戦争	西田若宮正子
L944 見えない戦争	西田若宮正子
L945 見えない戦争	西田若宮正子
L946 見えない戦争	西田若宮正子
L947 見えない戦争	西田若宮正子
L948 見えない戦争	西田若宮正子
L949 見えない戦争	西田若宮正子
L950 見えない戦争	西田若宮正子
L951 見えない戦争	西田若宮正子
L952 見えない戦争	西田若宮正子
L953 見えない戦争	西田若宮正子
L954 見えない戦争	西田若宮正子
L955 見えない戦争	西田若宮正子
L956 見えない戦争	西田若宮正子
L957 見えない戦争	西田若宮正子
L958 見えない戦争	西田若宮正子
L959 見えない戦争	西田若宮正子
L960 見えない戦争	西田若宮正子

L672 2049年「お金」消滅 日韓激突	齊藤賢爾	小松和彦	L687 神になつた日本人
L673 平成重大事件の深層 「遺品」です	佐藤 優一 鎌田 靖 古田 雄介	手嶋 龍一 熊崎 勝彦 吉田 貴	L688 イスラム、ヒンズー、ユダヤ教... 宗教別おもてなしマニュアル
L674 海底の支配者 底生生物	清家弘治	L690 街場の親子論	島田 裕巳
L675 歴史に残る外交三賢人	伊藤 貴	L691 中国、科学技術霸権への野望	田中亞紀子
L676 若い体のつくり方	谷本道哉	L692 公安調査庁	内田 るん 内田 樹
L677 英語コンプレックス	鳥飼 玲美子 齋藤 孝	L693 ゴールドマン・サックス流 女性社員の育て方 教えます	倉澤 治雄
L678 粉碎宣言	L694 歯医者さんのかかり方	L695 回想のすすめ	手嶋 龍一 佐藤 優一
L679 新装版 学術的に「正しい」 若き体のつくり方	谷本道哉	五木 寛之	渡辺勝敏
L680 駅名学入門	今尾 恵介	L696 新装版 思考の技術	L700 山へようこそ 韓国若者
L681 増補版「遊ぶ」が勝ち	八田 進二	L697 世紀の落球	疫病VS神
L682 「第三者委員会」の欺瞞	為末 大	L698 東京レトロ写真帖 秋山武雄 読売新聞都内版編集室編	島田 裕巳
L683 ブログフミング講座	清水 亮	L699 1912-2020 不登校、うつ状態、発達障害 親がすべきこと	石丸謙二郎
L684 新装版 教養としての ブロードミング講座	L700 初歩からの シヤーロック・ホームズ	L701 女子校礼譜	安宿 緑
L685 溝井裕一	L701 その日なぜ信長は 本能寺に泊まつていたのか	L702 山へようこそ 韓国若者	島田 裕巳
L686 橋木俊詔	L702 口写真帖 澤宮 優	L703 大學生とオリンピック 1912-2020	疫病VS神
L687 鶴原徹也 編	L704 コロナ後の教育へ	L705 女子校礼譜	関谷 秀子
L688 安田峰俊	L706 立花 隆	L706 女子校礼譜	小林 哲夫
L689 森村誠一	澤田 晃宏	L707 菅政権と米中危機	L707 山へようこそ 韓国若者
L690 森川賢龍	佐藤 上彰	L708 ゲンロン戦記	菅政権と米中危機
L691 大橋保之	澤田 晃宏	L709 菅政権と米中危機	菅政権と米中危機
L692 佐藤信弥	佐藤 上彰	L710 東 浩紀	菅政権と米中危機
L693 野口悠紀雄	澤田 晃宏	L711 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L694 櫻田大造	澤田 晃宏	L712 東 浩紀	菅政権と米中危機
L695 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L713 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L696 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L714 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L697 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L715 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L698 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L716 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L699 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L717 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L700 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L718 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L701 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L719 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L702 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L720 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L703 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L721 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L704 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L722 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L705 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L723 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L706 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L724 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L707 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L725 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L708 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L726 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L709 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L727 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L710 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L728 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L711 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L729 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L712 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L730 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L713 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L731 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L714 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L732 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L715 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L733 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L716 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L734 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L717 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L735 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L718 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L736 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L719 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L737 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L720 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L738 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L721 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L739 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L722 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L740 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L723 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L741 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L724 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L742 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L725 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L743 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L726 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L744 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L727 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L745 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L728 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L746 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L729 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L747 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L730 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L748 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L731 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L749 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L732 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L750 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L733 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L751 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L734 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L752 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L735 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L753 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L736 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L754 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L737 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L755 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L738 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L756 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L739 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L757 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L740 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L758 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L741 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L759 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L742 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L760 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L743 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L761 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L744 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L762 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L745 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L763 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L746 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L764 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L747 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L765 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L748 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L766 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L749 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L767 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L750 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L768 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L751 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L769 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L752 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L770 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L753 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L771 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L754 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L772 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L755 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L773 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L756 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L774 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L757 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L775 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L758 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L776 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L759 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L777 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L760 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L778 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L761 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L779 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L762 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L780 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L763 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L781 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L764 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L782 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L765 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L783 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L766 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L784 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L767 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L785 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L768 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L786 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L769 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L787 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L770 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L788 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L771 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L789 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L772 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L790 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L773 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L791 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L774 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L792 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L775 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L793 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L776 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L794 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L777 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L795 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L778 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L796 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L779 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L797 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L780 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L798 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L781 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L799 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L782 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L800 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L783 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L801 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L784 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L802 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L785 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L803 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L786 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L804 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L787 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L805 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L788 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L806 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L789 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L807 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L790 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L808 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L791 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L809 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L792 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L810 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L793 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L811 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L794 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L812 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L795 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L813 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L796 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L814 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L797 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L815 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L798 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L816 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L799 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L817 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L800 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L818 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L801 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L819 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L802 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L820 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L803 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L821 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L804 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L822 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L805 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L823 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L806 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L824 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L807 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L825 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L808 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L826 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L809 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L827 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L810 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L828 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L811 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L829 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L812 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L830 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L813 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L831 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L814 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L832 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L815 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L833 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L816 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L834 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L817 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L835 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L818 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L836 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L819 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L837 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L820 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L838 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L821 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L839 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L822 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L840 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L823 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L841 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L824 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L842 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L825 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L843 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L826 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L844 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L827 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L845 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L828 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L846 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L829 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L847 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L830 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L848 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L831 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L849 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L832 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L850 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L833 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L851 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L834 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L852 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L835 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L853 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L836 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L854 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L837 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L855 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L838 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L856 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L839 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L857 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L840 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L858 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L841 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L859 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L842 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L860 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L843 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L861 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L844 澤田 晃宏	澤田 晃宏	L862 手嶋 龍一 佐藤 優一	菅政権と米中危機
L845 澤田 晃宏			

L748 中国「コロナ封じ」の 虚実	高口 康太	L760 60代からの 幸福をつかむ極意	齋藤 孝
L749 「命」の相談室	ゴルゴ松本	L761 娼婦の本棚	鈴木涼美
L750 なぜ人に会うのは つらいのか	佐藤 優環	L762 孤独の哲学	岸見 一郎
L751 イケズな東京	佐藤 上章一	L763 増補版 弘兼流 60歳からの手ぶら人生	中野ジエームズ修一
L752 炎上社会を考える	伊藤 昌亮	L764 子どもを壊す 部活トレ	弘兼 憲史
L753 エリートと教養	青木 淳一	L765 生き物がいること	岸見 一郎
L754 裏切り者は顔に出る	村上陽一郎	L766 吉村昭の人生作法	中野ジエームズ修一
L755 メタ認知	清水建二	L767 わいせつ教員の闇	稻垣栄洋
L756 データ分析読解の技術	三宮真智子	L768 世界の「巨匠」の失敗に学べ! 組織で生き延びる45の秘策	谷口桂子
L757 デジタル・ 数字中国	菅原 琢	L769 理想の国へ	稲垣栄洋
L758 「合戦」の日本史	西村友作	L770 教育の未来	谷口桂子
L759 老いを愛づる	本郷和人	L771 へんてこな生き物	瀬戸内寂聴
L760 弘兼流	中村桂子	L772 調べて、伝えて、近づいて 「抽象の目」	山口謙司
L761 70歳からのゆうゆう人生	弘兼憲史	L773 歩きながら考える	ヤマザキマリ
L762 君たちのための自由論	内田 ウスピ・サコ樹	L774 オックスフォード大教授が問う 思考停止社会ニッポン	苅谷剛彦
L763 人事ガチャの秘密	香田 洋二	L775 見えないものを見る	細谷 功
L764 「将軍」の日本史	藤井 薫	L776 調べて、伝えて、近づいて 増田明美	246
L765 古谷 経衡	藤井 薫	L777 増補版 実録・家で死ぬ	247
L766 防衛省に告ぐ	香田 洋二	L778 実録・家で死ぬ	瀬戸内寂聴
L767 今尾恵介	今尾恵介	L779 ジエンダーレスの日本史	笹井恵里子
L768 弘兼憲史	菅原 琢	L780 人生は、日々の当たり前	曾野綾子
L769 清水建二	西村友作	L781 の積み重ね	古屋星斗
L770 中村桂子	本郷和人	L782 中学入試超良問で学ぶニッポンの課題	山口謙司
L771 川端裕人	中村桂子	L783 おおたどしまさ編著 世界のマネージョーク集	ヤマザキマリ
L772 教育の未来	弘兼憲史	L784 蟹江憲史+山本祐監修 古屋星斗	246
L773 理想の国へ	西村友作	L785 人生は、日々の当たり前	247
L774 へんてこな生き物	本郷和人	L786 の積み重ね	247
L775 増補版 実録・家で死ぬ	中村桂子	L787 蟹江憲史+山本祐監修 古屋星斗	246
L776 「抽象の目」	弘兼憲史	L788 の積み重ね	247
L777 増補版 実録・家で死ぬ	中野ジエームズ修一	L789 人生は、日々の当たり前	246
L778 見えないものを見る	稻垣栄洋	L790 の積み重ね	247
L779 吉村昭の人生作法	谷口桂子	L791 の積み重ね	246
L780 吉村昭の人生作法	清水建二	L792 の積み重ね	247
L781 の積み重ね	三宮真智子	L793 の積み重ね	246
L782 吉村昭の人生作法	菅原 琢	L794 の積み重ね	247
L783 吉村昭の人生作法	西村友作	L795 の積み重ね	246
L784 吉村昭の人生作法	本郷和人	L796 の積み重ね	247
L785 吉村昭の人生作法	中村桂子	L797 の積み重ね	246
L786 吉村昭の人生作法	弘兼憲史	L798 の積み重ね	247
L787 吉村昭の人生作法	内田 ウスピ・サコ樹	L799 の積み重ね	246
L788 吉村昭の人生作法	香田 洋二	L800 の積み重ね	247
L789 吉村昭の人生作法	藤井 薫	L801 の積み重ね	246
L790 吉村昭の人生作法	藤井 薫	L802 の積み重ね	247

針生悦子	L663	宮本雄二	L648
樋口裕一	L073	村上陽一郎	L753
平井伸治	L563, L724	村松秀	L226
平野啓一郎	(共著)L769	森村誠一	L718
弘兼憲史	L763, L786		
福岡伸一	(共著)L551		

ヤ 行

藤井 薫	L788	安田峰俊	L716
二木謙一	L645	安宿緑	L701
古田雄介	L675	山内英雄	(共著)L538
古屋星斗	L781	山口謠司	L772
古谷経衡	L790	ヤマザキマリ	L699, L773
細谷 功	L775	山本 祐	(監修)L782
本郷和人	L630, L719, L758, L789	読売新聞運動部	L568

マ 行

増田明美	L776		
杵野俊明	L711		
松岡亮二	(編著)L740		
松本仁志	L435	若江雅子	L732
間野まりえ	(共著)L743	若宮正子	L655
黛まどか	L614	渡辺勝敏	L694
溝井裕一	L713	渡邊恒雄	L721
三田佐代子	L554		

ワ 行

増田明美	L776	若江雅子	L732
杵野俊明	L711	若宮正子	L655
松岡亮二	(編著)L740	渡辺勝敏	L694
松本仁志	L435	渡邊恒雄	L721
間野まりえ	(共著)L743		
黛まどか	L614		
溝井裕一	L713		
三田佐代子	L554		

中公新書ラクレ 著訳編者名索引

◆数字はラクレ番号

ア 行

- 青木 淳 (共著) L751
 赤上裕幸 L737
 秋山武雄 L659, L698
 東 浩紀 L709
 雨宮処凜 (共著) L598
 安西祐一郎 L770
 飯塚恵子 L652
 池上 彰 (共著) L653, (共著) L725,
 (共著) L738, (共著) L768
 池田利道 L542
 石井健一 (共著) L742
 石丸謙二郎 L702
 五木寛之 L585, L651, L695
 伊藤亜紗 (共著) L738
 伊藤 貫 L677
 伊藤昌亮 L752
 稲垣栄洋 L765
 井上茂男 L657
 井上章一 (共著) L751
 今尾恵介 L682, L784
 岩田光央 L576
 上田紀行 L666, (共著) L738
 上野千鶴子 (共著) L598
 内田 樹 (共著) L690, (共著) L787
 内田 るん (共著) L690
 馬田隆明 L578
 大澤真幸 (共著) L769
 おおたとしまさ L638, (編著) L782
 大谷弘至 L746
 大塚ひかり L779
 大橋保之 L730
 大村大次郎 L396
 大藪謙介 (共著) L743
 萩原博子 L739
 小澤匡行 L735

カ 行

- カー、アレックス (共著) L650
 加来耕三 L712
 かこさとし (共著) L551
 加地伸行 L635
 蟹江憲史 (監修) L782
 鎌田 靖 (聞き手) L674
 荻谷剛彦 L429,
 L430, L587, L708, L774
 河合雅司 L617
 河島茂生 (共著) L667
 川端裕人 L294, L771
 川部紀子 L736
 川村稻造 L734
 川良浩和 L681
 岸見一郎 L363, L557, L586, L762
 北原尚彦 L706
 木村 誠 L664
 キャシー・松井 L693
 清野由美 (共著) L650
 キーン、ドナルド (共著) L624
 具志堅用高 (共著) L644
 楠瀬 良 L619
 久保田勇夫 L637
 熊崎勝彦 L674
 倉澤治雄 L691
 小池百合子 (編著) L590
 香田洋二 L785
 河野博子 L572
 神山 潤 L194
 コトラー、フィリップ (共著) L567
 小林哲夫 L704
 小林雅一 L723
 小松和彦 L687
 小谷野 敦 L680
 ゴルゴ松本 L749

サ 行

- 斎藤賢爾 L672
 斎藤 孝 L535, (共著) L678, L760
 斎藤 環 (共著) L750
 佐伯啓思 L603, L615
 酒井 穣 L462
 坂爪真吾 L745
 櫻田大造 L401, L728
 サコ、ウスピ (共著) L787
 笹井恵里子 L733, L778
 佐々木政一 L631
 佐藤信弥 L729
 佐藤智恵 L599, L658
 佐藤雅美 L683
 佐藤 優 (共著) L653,
 (共著) L673, (共著) L692,
 (共著) L710, (共著) L725,
 (共著) L750, (共著) L768
 泽田晃宏 L726
 泽宮 優 L697
 三宮真智子 L755
 三森ゆりか L717
 島 泰三 (共著) L538
 島田裕巳 L670, L688, L700
 清水建二 L754
 清水 亮 L686
 白河桃子 L656
 辛酸なめ子 L705, L747
 菅原 琢 L756
 杉田俊介 L646
 鈴木涼美 L761
 清家弘治 L676
 関根眞一 L244
 関谷秀子 L703
 濱戸内寂聴 (共著) L624, L777
 曾野綾子 L780

ナ 行

- 中井美穂 L668
 中野ジェームズ修一 L764
 中原 淳 L722
 中村彰彦 L707
 中村桂子 L759
 中邑賢龍 L731
 成毛 真 L660
 西垣 通 (共著) L667
 西田 浩 (共著) L644
 西村友作 L757
 日本テレビ政治部 L662
 野口悠紀雄 L727

ハ 行

- 橋本健二 L741
 橋本五郎 L421, L496
 長谷川朋子 L744
 秦野るい子 L669
 八田進二 L685
 濱口桂一郎 L465
 早坂 隆 L202, L309,
 L400, L605, L720, L783

タ 行

- 高岡 浩三 (共著) L567
 高口康太 L748
 竹内政明 L620

日韓激突（手嶋龍一+佐藤優）	L673
日中の失敗の本質（宮本雄二）	L648
ニッポン 未完の民主主義（池上彰+佐藤優）	L725
日本の美德（瀬戸内寂聴+ドナルド・キーン）	L624
NETFLIX 戦略と流儀（長谷川朋子）	L744

ハ 行

歯医者さんのかかり方（渡辺勝敏）	L694
〈増補版〉箱根駅伝（読売新聞運動部）	L568
ハーバード×慶應流 交渉学入門（田村次朗）	L481
ハーバード日本史教室（佐藤智恵）	L599
ハーバードの日本人論（佐藤智恵）	L658
ハラスマントの境界線（白河桃子）	L656
番記者が見た新天皇の素顔（井上茂男）	L657
パンツを脱いじゃう子どもたち（坂爪真吾）	L745
ビジネスでいちばん大事な「心理学の教養」（酒井穰）	L462
ビジネスパーソンのための「言語技術」超入門（三森ゆりか）	L717
筆順のはなし（松本仁志）	L435
P T A再活用論（川端裕人）	L294
弘兼流 70歳からのゆうゆう人生（弘兼憲史）	L786
〈増補版〉弘兼流 60歳からの手ぶら人生（弘兼憲史）	L763
プロレスという生き方（三田佐代子）	L554
分断のニッポン史（赤上裕幸）	L737
〈伝説の特捜検事が語る〉平成重大事件の深層（熊崎勝彦著、鎌田靖聞き手）	L674
〈カラー版〉へんてこな生き物（川端裕人）	L771
防衛省に告ぐ（香田洋二）	L785
膨張GAFAとの闘い（若江雅子）	L732
「保守」のゆくえ（佐伯啓思）	L615
本をサクサク読む技術（斎藤孝）	L535

マ 行

負けたくなかった（具志堅用高+西田浩）	L644
マーケティングのすゝめ（高岡浩三+フィリップ・コトラー）	L567
街場の親子論（内田樹+内田るん）	L690
見えない戦争（田中均）	L671
見えないものを見る「抽象の目」（細谷功）	L775
未来の呪縛（河合雅司）	L617
無心のすすめ（耕野俊明）	L711
メタ認知（三宮真智子）	L755
森光子 百歳の放浪記（川良浩和）	L681

ヤ 行

野球×統計は最強のバッテリーである（データスタジアム株式会社）	L533
〈新装版〉役人道入門（久保田勇夫）	L637
やさしい文章術（樋口裕一）	L073
安彦良和の戦争と平和（杉田俊介）	L646
〈カラー版〉やってみよう！ 車中泊（大橋保之）	L730
山へようこそ（石丸謙二郎）	L702
〈ドキュメント〉誘導工作（飯塚恵子）	L652
ゆるい職場（古屋星斗）	L781
吉村昭の人生作法（谷口桂子）	L766
「夜ふかし」の脳科学（神山潤）	L194

ラ 行

理想の国へ（大澤真幸+平野啓一郎）	L769
リーダーは歴史観をみがけ（出口治明）	L600
〈ドキュメント〉「令和」制定（日本テレビ政治部）	L662
歴史に残る外交三賢人（伊藤貫）	L677
60代からの幸福をつかむ極意（斎藤孝）	L760
論文捏造（村松秀）	L226

ワ 行

わいせつ教員の闇（読売新聞取材班）	L767
〈増補版〉わが人生記（渡邊恒雄）	L721
若者と労働（濱口桂一郎）	L465
〈増補版〉笑って生きる（瀬戸内寂聴）	L777

〈イスラム、ヒンズー、ユダヤ教……〉 宗教別 おもてなしマニュアル
 (島田裕巳)

12人の花形伝統芸能 (中井美穂)
 自由の限界 (鶴原徹也編)
 「将軍」の日本史 (本郷和人)
 上皇の日本史 (本郷和人)
 姫婦の本棚 (鈴木涼美)
 女子校礼譜 (辛酸なめ子)
 初歩からのシャーロック・ホームズ (北原尚彦)
 調べて、伝えて、近づいて (増田明美)
 辛酸なめ子の独断！ 流行大全 (辛酸なめ子)
 人事がチャの秘密 (藤井薰)
 神社で拍手を打つな！ (島田裕巳)
 人生の十か条 (辻仁成)
 人生は、日々の当たり前の積み重ね (曾野綾子)
 人生を変える勇気 (岸見一郎)
 新・世界の日本人ジョーク集 (早坂隆)
 新・大学序列 (川村稻造)
 数字中国 (西村友作)
 菅政権と米中危機 (手嶋龍一+佐藤優)
 「スパコン富岳」後の日本 (小林雅一)
 スマホの中身も「遺品」です (古田雄介)
 世紀の落球 (澤宮優)
 声優道 (岩田光央)
 〈100万人が笑った！〉「世界のジョーク集」傑作選 (早坂隆)
 世界の日本人ジョーク集 (早坂隆)
 世界の日本人ジョーク集 令和編 (早坂隆)
 世界のマネージョーク集 (早坂隆)
 世代の痛み (上野千鶴子+雨宮処凜)
 1995年のエア マックス (小澤匡行)
 戦国武将に学ぶ究極のマネジメント (二木謙一)
 潜入・ゴミ屋敷 (笛井恵里子)
 戦乱中国の英雄たち (佐藤信弥)
 総理の覚悟 (橋本五郎)
 総理の器量 (橋本五郎)
 続・孤独のすすめ (五木寛之)
 続・世界の日本人ジョーク集 (早坂隆)
 〈世界の“巨匠”の失敗に学べ！〉組織で生き延びる45の秘策
 (池上彰+佐藤優)
 その日なぜ信長は本能寺に泊まっていたのか (中村彰彦)

L688
 L668
 L715
 L789
 L630
 L761
 L705
 L706
 L776
 L747
 L788
 L670
 L634
 L780
 L557
 L605
 L734
 L757
 L710
 L723
 L675
 L697
 L576
 L400
 L202
 L720
 L783
 L598
 L735
 L645
 L733
 L729
 L496
 L421
 L651
 L309

L768
 L707

タ 行

大学教員 採用・人事のカラクリ (櫻田大造) L401
 大学とオリンピック 1912-2020 (小林哲夫) L704
 大学はどこまで「公平」であるべきか (橋木俊詔) L714
 「第三者委員会」の欺瞞 (八田進二) L685
 〈読売新聞朝刊一面コラム〉竹内政明の「編集手帳」傑作選 (竹内政明) L620
 たちどまって考える (ヤマザキマリ) L699
 立花宗茂 (加来耕三) L712
 「脱」戦後のすすめ (佐伯啓思) L603
 立て直す力 (上田紀行) L666
 楽しい孤独 小林一茶はなぜ辞世の句を詠まなかつたのか (大谷弘至) L746
 地域と繋がる大学 (佐藤雅美) L683
 小さくても勝てる (平井伸治) L563
 地図記号のみつ (今尾恵介) L784
 ちっちゃな科学 (かこさとし+福岡伸一) L551
 「地方国立大学」の時代 (木村誠) L664
 中学受験「必笑法」(おおたとしまさ) L638
 中学入試超良問で学ぶニッポンの課題
 (おおたとしまさ編著, 蟹江憲史+山本祐監修) L782
 中国、科学技術霸権への野望 (倉澤治雄) L691
 中国「コロナ封じ」の虚実 (高口康太) L748
 「超」メモ革命 (野口悠紀雄) L727
 「定年後知的格差」時代の勉強法 (櫻田大造) L728
 データ分析読解の技術 (菅原琢) L756
 東京懐かし写真帖 (秋山武雄著, 読売新聞都内版編集室編) L659
 東京23区×格差と階級 (橋本健二) L741
 東京レトロ写真帖 (秋山武雄著, 読売新聞都内版編集室編) L698
 東京を捨てる (澤田晃宏) L726
 動物園・その歴史と冒險 (溝井裕一) L713
 とがったりーダーを育てる (池上彰+上田紀行+伊藤亜紗) L738
 独学のススメ (若宮正子) L655
 得する会社員 損する会社員 (川部紀子) L736
 鳥取力 (平井伸治) L724
 となりのクレーマー (関根眞一) L244
 どの子も違う (中邑賢龍) L731

ナ 行

なぜ人に会うのはつらいのか (斎藤環+佐藤優) L750
 憶めるローマ法王 フランシスコの改革 (秦野るり子) L669
 23区格差 (池田利道) L542
 2049年「お金」消滅 (斎藤賢爾) L672

中公新書ラクレ 書名索引

◆数字はラクレ番号

ア 行

あ(山口謙司)	L772
赤ちゃんはことばをどう学ぶのか(針生悦子)	L663
〈新装版〉「遊ぶ」が勝ち(為末大)	L684
アドラーをじっくり読む(岸見一郎)	L586
あらゆる領収書は経費で落とせる(大村大次郎)	L396
歩きながら考える(ヤマザキマリ)	L773
生き物が老いるということ(稻垣栄洋)	L765
イケズな東京(井上章一+青木淳)	L751
遺伝子命名物語(坪子理美+石井健一)	L742
「命」の相談室(ゴルゴ松本)	L749
裏切り者は顔に出る(清水建二)	L754
A I 倫理(西垣通+河島茂生)	L667
英語コンプレックス粉碎宣言(鳥飼玖美子+斎藤孝)	L678
疫病vs神(島田裕巳)	L700
駅名学入門(今尾恵介)	L682
エリートと教養(村上陽一郎)	L753
炎上社会を考える(伊藤昌亮)	L752
老いる意味(森村誠一)	L718
老いを愛づる(中村桂子)	L759
オックスフォードからの警鐘(苅谷剛彦)	L587
お父さんは認知症(田中亜紀子)	L689
大人のための儒教塾(加地伸行)	L635
親が子供に教える一生お金に苦労しない12の方法(荻原博子)	L739

カ 行

回想のすすめ(五木寛之)	L695
海底の支配者 底生生物(清家弘治)	L676
〈新装版〉学術的に「正しい」若い体のつくり方(谷本道哉)	L679
〈増補版〉駆け出しマネジャーの成長論(中原淳)	L722
「合戦」の日本史(本郷和人)	L758
歌舞伎に女優がいた時代(小谷野敦)	L680
神になった日本人(小松和彦)	L687
観光亡国論(アレックス・カー+清野由美)	L650
韓国の若者(安宿緑)	L701
奇跡の四国遍路(黛まだか)	L614

希望の政治(小池百合子編著)

君たちのための自由論(内田樹+ウスピ・サコ)

逆説のスタートアップ思考(馬田隆明)

教育激変(池上彰+佐藤優)

教育の未来(安西祐一郎)

教育論の新常識(松岡亮二編著)

〈増補版〉教養としてのプログラミング講座(清水亮)

グローバル化時代の大学論① アメリカの大学・ニッポンの大学(苅谷剛彦)

L429

グローバル化時代の大学論② イギリスの大学・ニッポンの大学(苅谷剛彦)

L430

決断(成毛眞)

L660

現代中国の秘密結社(安田峰俊)

L716

ゲンロン戦記(東浩紀)

L709

公安調査庁(手嶋龍一+佐藤優)

L692

〈秘湯マニアの温泉療法専門医が教える〉心と体に効く温泉(佐々木政一)

L631

〈マンガ〉コサインなんて人生に関係ないと思った人のための数学のはなし

(タテノカズヒロ)

L499

腰・肩・ひざは「ふたりで」治す(山内英雄+島泰三)

L538

孤独のすすめ(五木寛之)

L585

孤独の哲学(岸見一郎)

L762

子どもを壊す部活トレ(中野ジェームズ修一)

L764

困った時のアドラー心理学(岸見一郎)

L363

ゴールドマン・サックス流 女性社員の育て方、教えます(キャシー松井)

L693

コロナ後の教育へ(苅谷剛彦)

L708

サ 行

里地里山エネルギー(河野博子)

L572

サラブレッドに「心」はあるか(楠瀬良)

L619

ジェンダーレスの日本史(大塚ひかり)

L779

〈オックスフォード大教授が問う〉思考停止社会ニッポン(苅谷剛彦)

L774

〈新装版〉思考の技術(立花隆)

L696

〈不登校、うつ状態、発達障害〉思春期に心が折れた時 親がすべきこと

L703

(関谷秀子)

「失敗」の日本史(本郷和人)

L719

実録・家で死ぬ(笹井恵里子)

L778

児童養護施設 施設長 殺害事件(大藪謙介+間野まりえ)

L743

シニア右翼(古谷経衡)

L790

〈教えて! 校長先生〉渋谷教育学園はなぜ共学トップになれたのか

L543

(田村哲夫)